

安曇野市
新しい博物館のあり方に
関する意識調査
集計結果報告



平成27年7月

目次

. 調査概要	2
. 調査結果（市民一般）	
1.対象者プロフィール（市民一般）	5
2.調査結果詳細（市民一般）	7
. 調査結果（安曇野市内博物館・美術館来館者）	
1.対象者プロフィール（安曇野市内博物館・美術館来館者）	23
2.調査結果詳細（安曇野市内博物館・美術館来館者）	25
. 調査結果（市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較）	
1.対象者プロフィール（市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較）	41
2.調査結果詳細（市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較）	43
. 自由回答一覧	
1.自由回答詳細（市民一般）	58
2.自由回答詳細（安曇野市内博物館・美術館来館者）	68

. 調査概要



調査概要

■ 調査目的

「安曇野市新市立博物館構想」策定の基礎資料とするために実施。

■ 調査設計（市民一般）

(1) 調査方法

郵送により配布・回収

(2) 調査対象・抽出

住民基本台帳から、地域別・年齢区分別に、人口比率に応じて18歳以上の市民を無作為抽出

(3) 調査期間

2015年5月25日(月)～6月8日(月)

(4) 回収結果

発送票数3,000 / 回収票数1,264 / 回収率42.1% / 有効集計数1,261

■ 調査設計（安曇野市内博物館・美術館来館者）

(1) 調査方法

安曇野市の博物館・美術館来館者に対する配布・回収

(2) 調査対象・抽出

調査期間内に安曇野市の博物館・美術館に来館した安曇野市民

(3) 調査期間

2015年5月25日(月)～6月8日(月)

(4) 回収結果

配布票数200 / 回収票数112 / 回収率56.0% / 有効集計数112

■ 集計上の留意点

回答率(割合)は、小数第二位を四捨五入して小数第一位までを表記しました。
このため、合計が100.0%にならないことがあります。

複数回答方式(MA)では、百分率の合計が100.0%を超えることがあります。

. 調查結果 《市民一般》



1.対象者プロフィール 《市民一般》



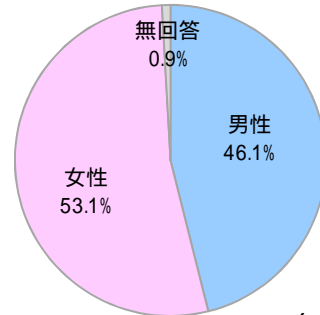
1.対象者プロフィール 《市民一般》

- 回答いただいた方は、『男性』が4割台、『女性』が5割台となっています。
- 回答いただいた方の年齢層は、『60代』が2割台と最も多くなっています。このほか、『40代』、『50代』、『70代』は1割台半ばと多くなっています。
- 回答いただいた方の居住地域は、『穂高地区』が最も多く、3割台となっており、『豊科地区』も約3割となっています。このほか、『三郷地域』は約2割で比較的多くなっています。
- 回答いただいた方の安曇野市での居住年数は、『31年以上』が過半数となっています。このほか、『21～30年以内』、『11～20年以内』がともに1割台と、比較的多くなっています。

● 性別

	人数	割合(%)
男性	581	46.1
女性	669	53.1
無回答	11	0.9
回答者数(%ベース)	1,261	100.0

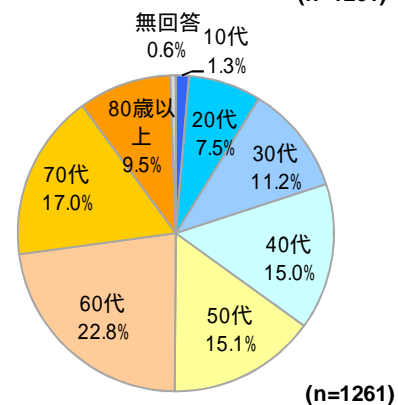
● 性別



● 年代

	人数	割合(%)
10代	17	1.3
20代	94	7.5
30代	141	11.2
40代	189	15.0
50代	191	15.1
60代	287	22.8
70代	215	17.0
80歳以上	120	9.5
無回答	7	0.6
回答者数(%ベース)	1,261	100.0

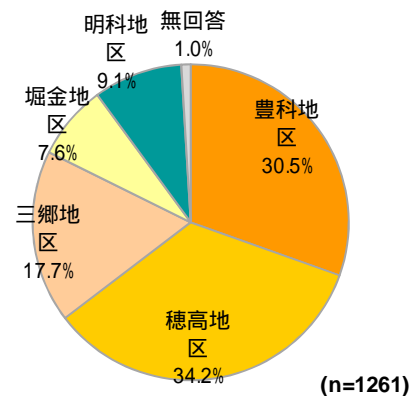
● 年代



● 居住地域

	人数	割合(%)
豊科地区	384	30.5
穂高地区	431	34.2
三郷地区	223	17.7
堀金地区	96	7.6
明科地区	115	9.1
無回答	12	1.0
回答者数(%ベース)	1,261	100.0

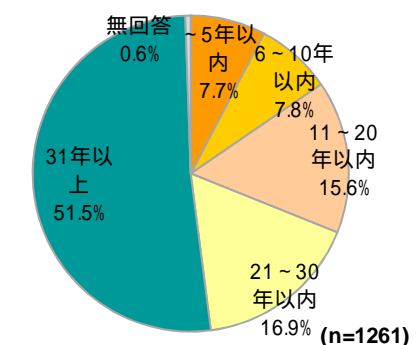
● 居住地域



● 居住年数(合併以前を含む)

	人数	割合(%)
～5年以内	97	7.7
6～10年以内	98	7.8
11～20年以内	197	15.6
21～30年以内	213	16.9
31年以上	649	51.5
無回答	7	0.6
回答者数(%ベース)	1,261	100.0

● 居住年数



2.調查結果詳細 《市民一般》

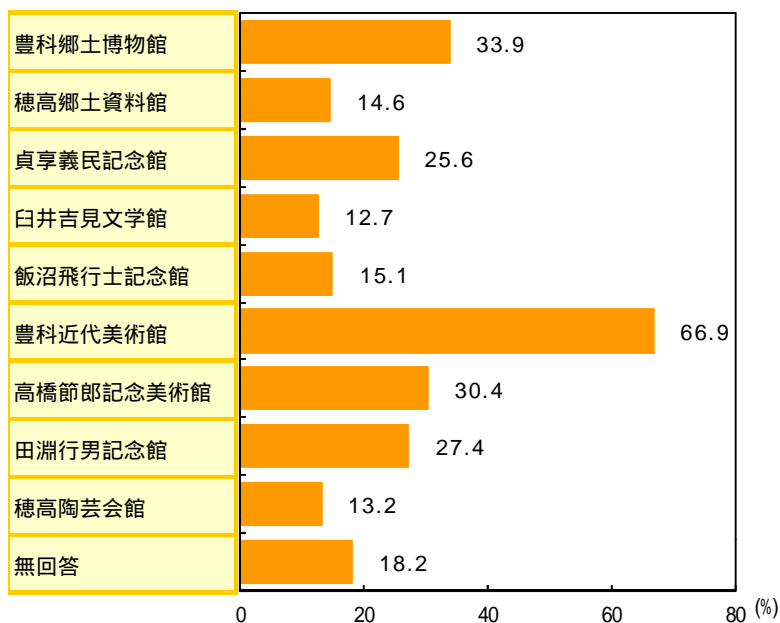


2.調査結果詳細 《市民一般》

Q1. 現在、安曇野市には、市立の博物館・美術が9館あります。行ったことのある施設をすべてお答えください。
(あてはまるものを全て回答)

✦安曇野市立の博物館・美術館で、行ったことのある施設として最も多かったものは、『豊科近代美術館』で、約67%と突出しております。その後に、『豊科郷土博物館』、『高橋節郎記念美術館』、『田淵行男記念館』、『貞享義民記念館』が3割前後で続きます。

	人数	割合(%)
博物館		
豊科郷土博物館	427	33.9
穂高郷土資料館	184	14.6
貞享義民記念館	323	25.6
臼井吉見文学館	160	12.7
飯沼飛行士記念館	191	15.1
美術館		
豊科近代美術館	843	66.9
高橋節郎記念美術館	383	30.4
田淵行男記念館	345	27.4
穂高陶芸会館	167	13.2
無回答	230	18.2
回答者数(%ベース)	1,261	

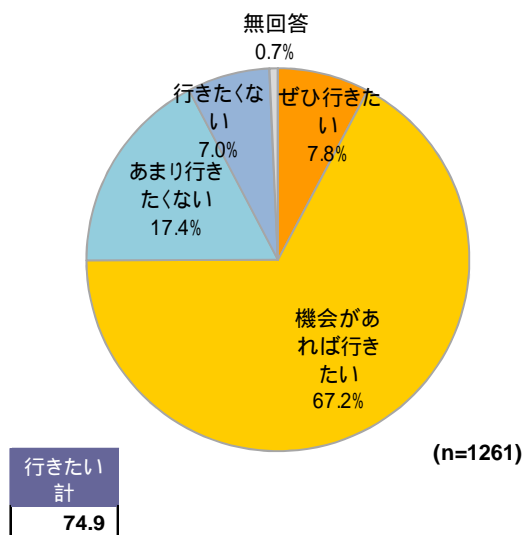


2.調査結果詳細 《市民一般》

Q2. 今後、上記の博物館・美術館のいずれかに行きたいと思えますか。もっとも当てはまるものを一つだけお答えください。(あてはまるものを一つだけ回答)

✦安曇野市立の博物館・美術館のいずれかに行きたいと思うかについては、『機会があれば行きたい』が最も多く、約67%となっています。『ぜひ行きたい』の約8%を合わせた約75%が、いずれかに行きたいと回答しています。

	人数	割合(%)
行きたい 計	945	74.9
ぜひ行きたい	98	7.8
機会があれば行きたい	847	67.2
あまり行きたくない	219	17.4
行きたくない	88	7.0
無回答	9	0.7
回答者数(%ベース)	1,261	100.0



行きたい 計 = ぜひ行きたい + 機会があれば行きたい

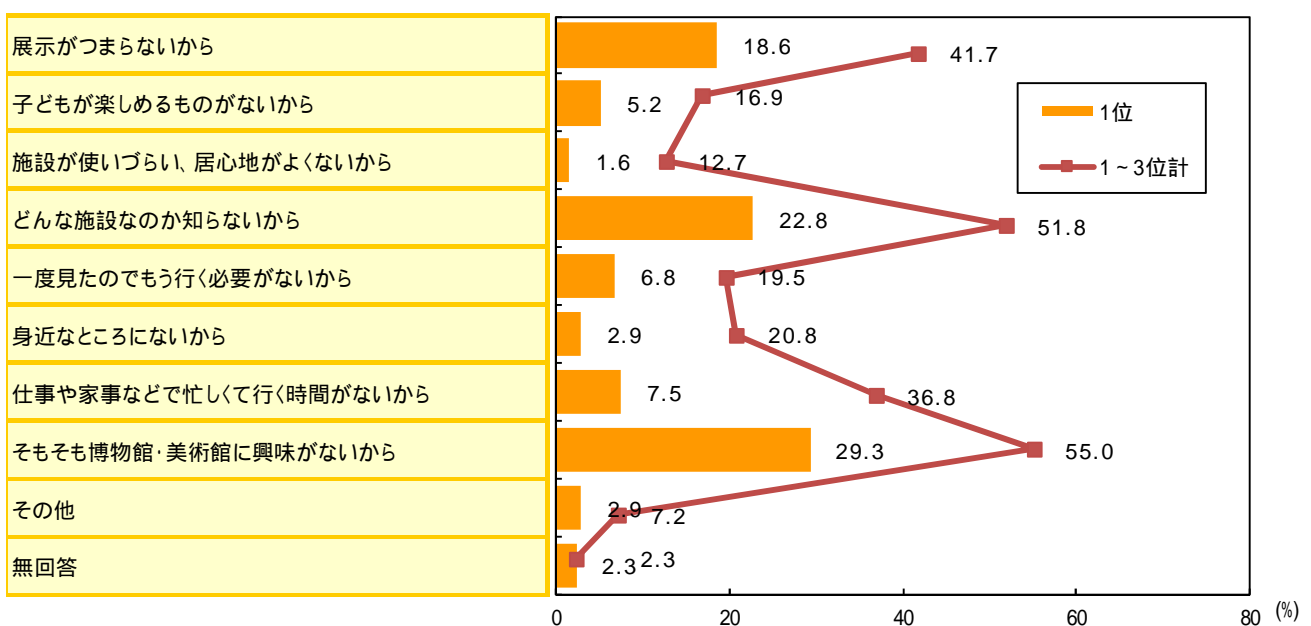
2.調査結果詳細 《市民一般》

Q3. (Q2 で あまり行きたくない あるいは 行きたくないとご回答した方のみご回答ください。) 安曇野市の博物館・美術館に行きたくないと回答された理由であてはまるものを上位3つまでお答えください。

- 安曇野市の博物館・美術館に行きたくないと回答された理由で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『そもそも博物館・美術館に興味がないから』で約3割となります。『どんな施設なのか知らないから』が約23%、『展示がつまらないから』が約19%と比較的多くなっています。
- 1～3位計として挙げた中で最も多かった回答は、『そもそも博物館・美術館に興味がないから』、次いで『どんな施設なのか知らないから』となり、ともに過半数を超えています。

Q2. あまり行きたくない 行きたくない 回答者対象

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
展示がつまらないから	57	18.6	128	41.7
子どもが楽しめるものがないから	16	5.2	52	16.9
施設が使いづらい、居心地がよくないから	5	1.6	39	12.7
どんな施設なのか知らないから	70	22.8	159	51.8
一度見たのでもう行く必要がないから	21	6.8	60	19.5
身近なところがないから	9	2.9	64	20.8
仕事や家事などで忙しくて行く時間がないから	23	7.5	113	36.8
そもそも博物館・美術館に興味がないから	90	29.3	169	55.0
その他	9	2.9	22	7.2
無回答	7	2.3	7	2.3
回答者数(%ベース)	307		307	

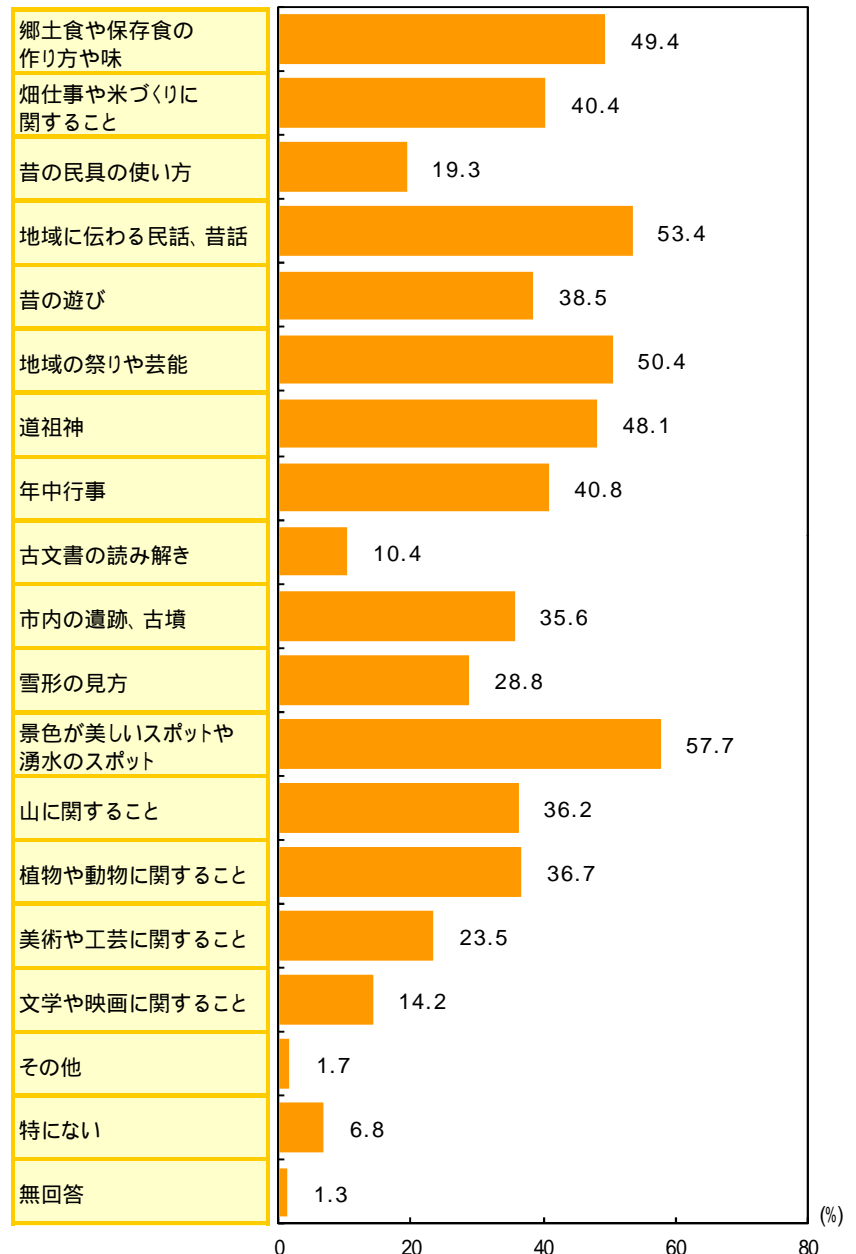


2.調査結果詳細 《市民一般》

Q4.安曇野市の文化について、あなたが持っている知識や情報、経験や技術のうち、子どもたちにぜひ伝えたい、次世代に残したいと思うことを全てご回答ください。(あてはまるものを全て回答)

✦安曇野市の文化について、自分が持っている知識や情報、経験や技術のうち、子どもたちにぜひ伝えたい、次世代に残したいと思うことは分散していますが、最も多かったことは、『景色が美しいスポットや湧水のスポット』の約6割でした。『地域に伝わる民話、昔話』、『地域の祭りや芸能』、『郷土食や保存食の作り方や味』、『道祖神』も、5割前後で多くなっています。

	人数	割合(%)
郷土食や保存食の作り方や味	623	49.4
畑仕事や米づくりに関すること	509	40.4
昔の民具の使い方	244	19.3
地域に伝わる民話、昔話	673	53.4
昔の遊び	485	38.5
地域の祭りや芸能	636	50.4
道祖神	607	48.1
年中行事	514	40.8
古文書の読み解き	131	10.4
市内の遺跡、古墳	449	35.6
雪形の見方	363	28.8
景色が美しいスポットや湧水のスポット	728	57.7
山に関すること	457	36.2
植物や動物に関すること	463	36.7
美術や工芸に関すること	296	23.5
文学や映画に関すること	179	14.2
その他	22	1.7
特にない	86	6.8
無回答	16	1.3
回答者数(%ベース)	1,261	

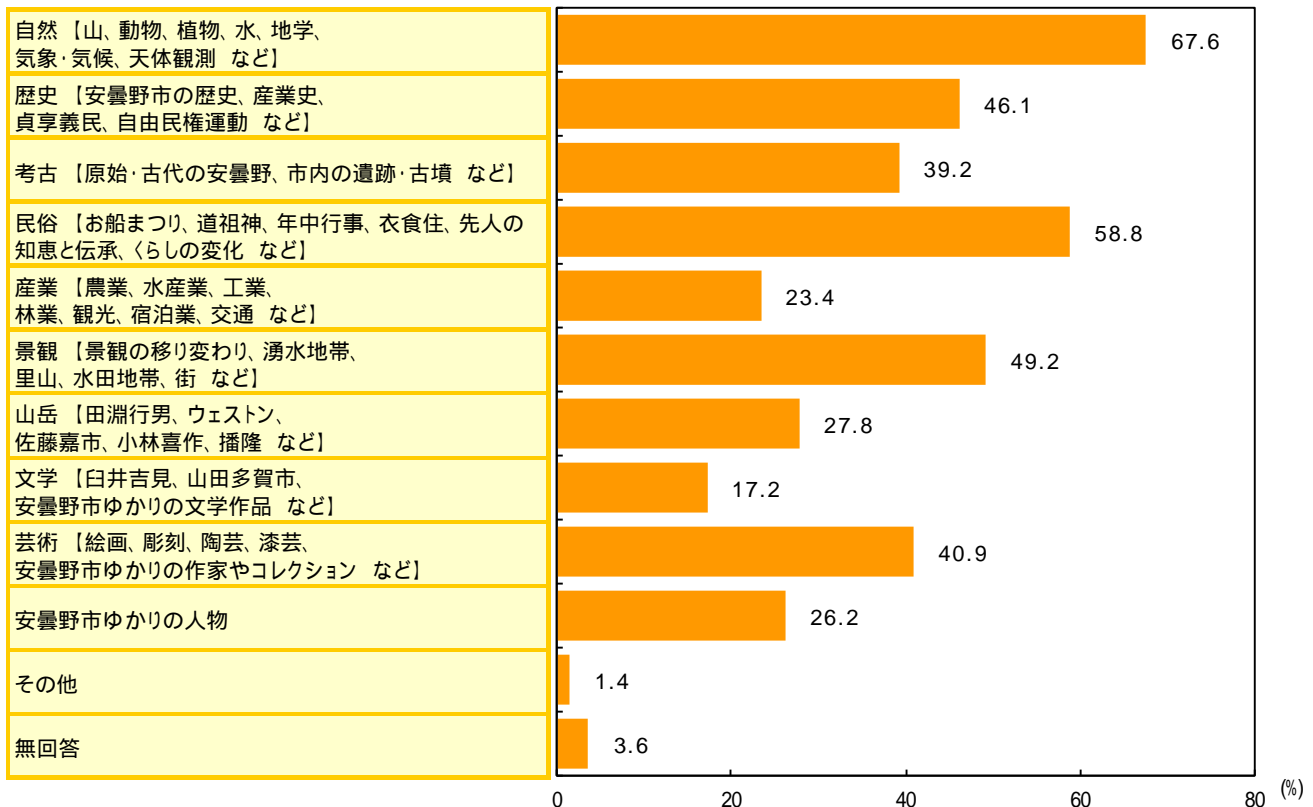


2.調査結果詳細 《市民一般》

Q5. 安曇野市の博物館の展示として、どのような分野に興味がありますか。あてはまるものを全てお答えください。
(あてはまるもの全て回答)

博物館の展示として興味のある分野は、『自然【山、動物、植物、水、地学、気象・気候、天体観測 など】』が約68%と最も多く、次いで、『民俗【お船まつり、道祖神、年中行事、衣食住、先人の知恵と伝承、くらしの変化 など】』が約59%、『景観【景観の移り変わり、湧水地帯、里山、水田地帯、街 など】』が約49%で続きます。

	人数	割合(%)
自然【山、動物、植物、水、地学、気象・気候、天体観測 など】	853	67.6
歴史【安曇野市の歴史、産業史、貞享義民、自由民権運動 など】	581	46.1
考古【原始・古代の安曇野、市内の遺跡・古墳 など】	494	39.2
民俗【お船まつり、道祖神、年中行事、衣食住、先人の知恵と伝承、くらしの変化 など】	741	58.8
産業【農業、水産業、工業、林業、観光、宿泊業、交通 など】	295	23.4
景観【景観の移り変わり、湧水地帯、里山、水田地帯、街 など】	620	49.2
山岳【田淵行男、ウェストン、佐藤嘉市、小林喜作、播隆 など】	350	27.8
文学【白井吉見、山田多賀市、安曇野市ゆかりの文学作品 など】	217	17.2
芸術【絵画、彫刻、陶芸、漆芸、安曇野市ゆかりの作家やコレクション など】	516	40.9
安曇野市ゆかりの人物	330	26.2
その他	18	1.4
無回答	46	3.6
回答者数(%ベース)	1,261	

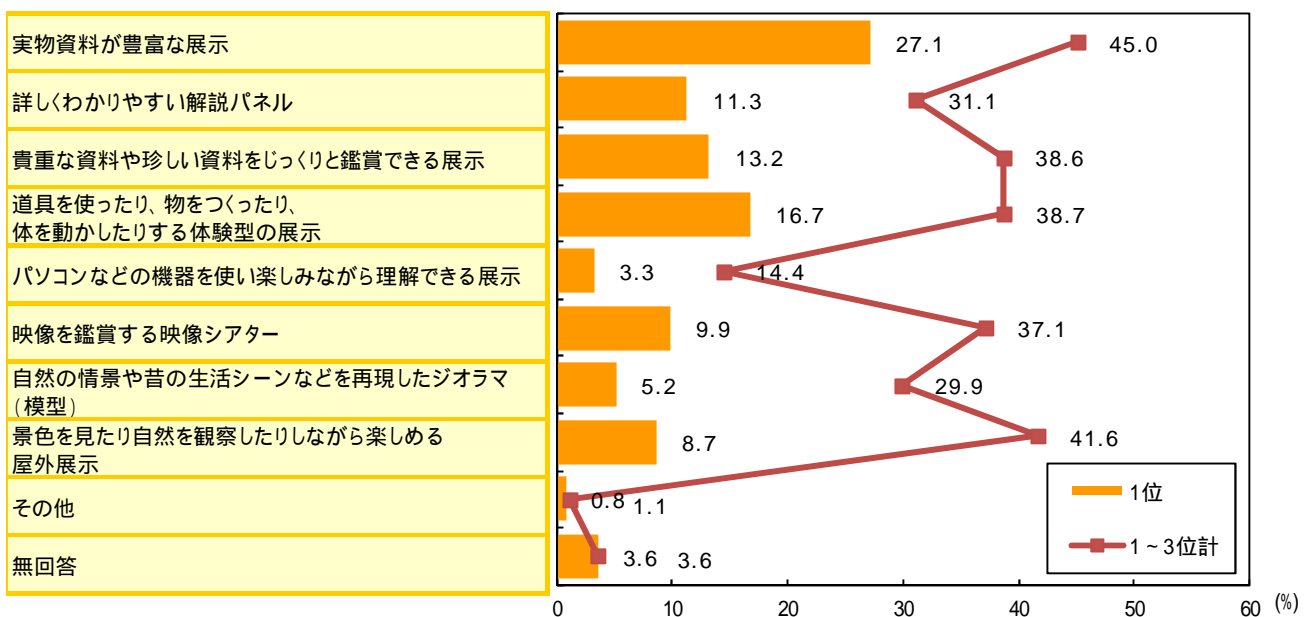


2.調査結果詳細 《市民一般》

Q6. 博物館の展示として、どのような展示手法に興味がありますか。あてはまるものを上位3つまでお答えください。

- ◆博物館の展示として、興味のわく展示手法で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『実物資料が豊富な展示』で約27%となります。また、『道具を使ったり、物をつくったり、体を動かしたりする体験型の展示』も約17%と多くなっています。
- ◆1～3位計として挙げた中で最も多かった回答は、『実物資料が豊富な展示』の45%であり、次いで、『景色を見たり自然を観察したりしながら楽しめる屋外展示』の約42%でした。

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
実物資料が豊富な展示	342	27.1	568	45.0
詳しくわかりやすい解説パネル	143	11.3	392	31.1
貴重な資料や珍しい資料をじっくりと鑑賞できる展示	167	13.2	487	38.6
道具を使ったり、物をつくったり、体を動かしたりする体験型の展示	211	16.7	488	38.7
パソコンなどの機器を使い楽しみながら理解できる展示	42	3.3	181	14.4
映像を鑑賞する映像シアター	125	9.9	468	37.1
自然の情景や昔の生活シーンなどを再現したジオラマ(模型)	66	5.2	377	29.9
景色を見たり自然を観察したりしながら楽しめる屋外展示	110	8.7	525	41.6
その他	10	0.8	14	1.1
無回答	45	3.6	45	3.6
回答者数(%ベース)	1,261		1,261	

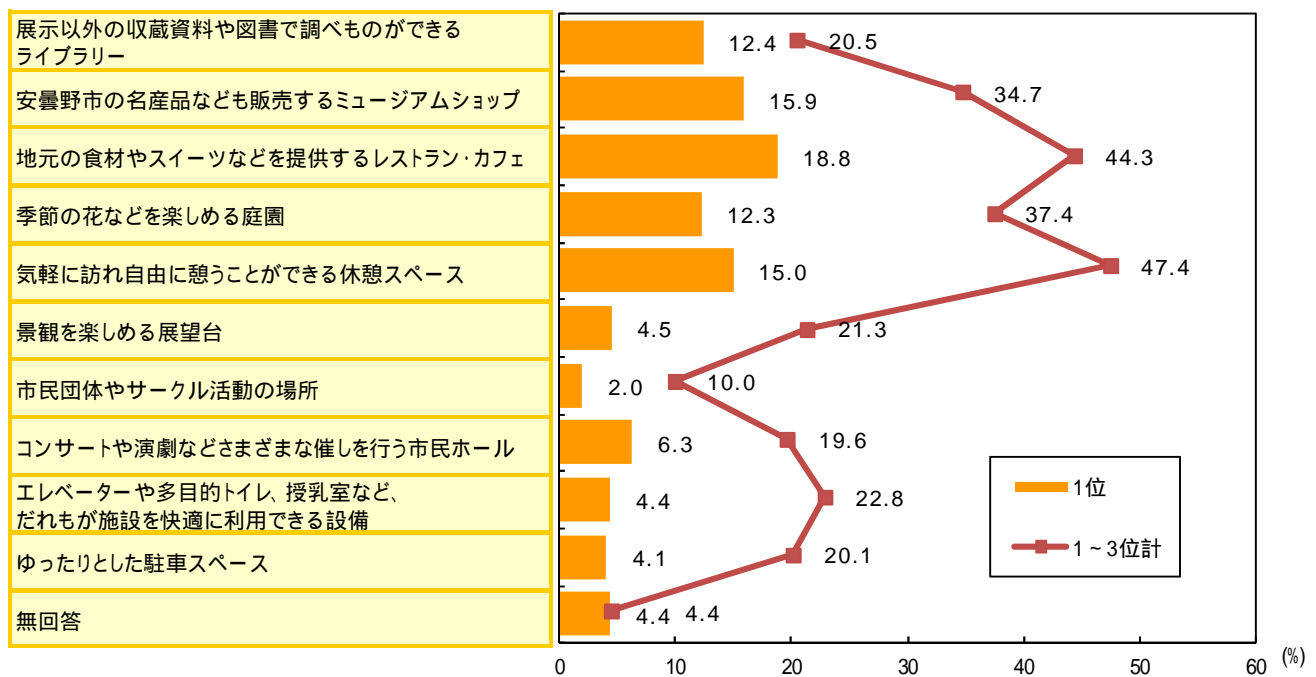


2.調査結果詳細 《市民一般》

Q7. 博物館を利用するにあたり、どのような設備を充実してほしいですか。あてはまるものを上位3つまでお答えください。

- ◆博物館を利用するにあたり、充実してほしい設備で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『地元の食材やスイーツなどを提供するレストラン・カフェ』で約19%となります。また、『安曇野市の名産品なども販売するミュージアムショップ』、『気軽に訪れ自由に憩うことができる休憩スペース』も15%前後で比較的多くなっています。
- ◆1～3位として挙げた中で最も多かった回答は、『気軽に訪れ自由に憩うことができる休憩スペース』で約47%となります。『地元の食材やスイーツなどを提供するレストラン・カフェ』も約44%と多くなっています。

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
展示以外の収蔵資料や図書で調べものができるライブラリー	156	12.4	258	20.5
安曇野市の名産品なども販売するミュージアムショップ	200	15.9	438	34.7
地元の食材やスイーツなどを提供するレストラン・カフェ	237	18.8	558	44.3
季節の花などを楽しめる庭園	155	12.3	471	37.4
気軽に訪れ自由に憩うことができる休憩スペース	189	15.0	598	47.4
景観を楽しめる展望台	57	4.5	269	21.3
市民団体やサークル活動の場所	25	2.0	126	10.0
コンサートや演劇などさまざまな催しを行う市民ホール	79	6.3	247	19.6
エレベーターや多目的トイレ、授乳室など、だれもが施設を快適に利用できる設備	56	4.4	288	22.8
ゆったりとした駐車スペース	52	4.1	254	20.1
無回答	55	4.4	55	4.4
回答者数(%ベース)	1,261		1,261	

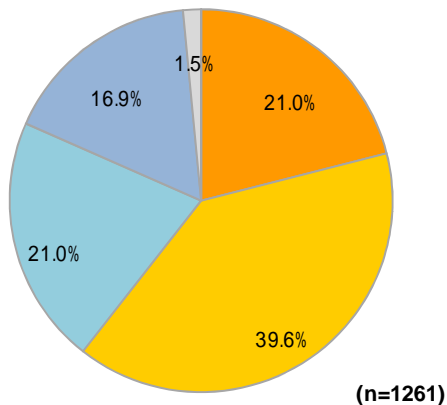


2.調査結果詳細 《市民一般》

Q8. 現在の安曇野市が所有する博物館・美術館（9館）を将来的にどのように維持すべきだと思いますか。もっともあてはまるものを一つだけお答えください。（あてはまるもの一つだけ回答）

◆安曇野市立の博物館・美術館を将来的にどのように維持すべきかについては、『ある程度統廃合して、今よりは施設の数減らしたほうがよい』が約4割と最も多くなっています。次いで、『統廃合を積極的に進めて、できるだけ施設の数減らしたほうがよい』、『現在の施設の数減らさずに、このまま維持したほうがよい』が続き、ともに21%となっています。

	人数	割合 (%)
減らした方がよい計	764	60.6
統廃合を積極的に進めて、できるだけ施設の数減らしたほうがよい	265	21.0
ある程度統廃合して、今よりは施設の数減らした方がよい	499	39.6
現在の施設の数減らさずに、このまま維持したほうがよい	265	21.0
よくわからない	213	16.9
無回答	19	1.5
回答者数 (%ベース)	1,261	100.0



減らした方がよい計
60.6

減らした方がよい計 = +

統廃合を積極的に進めて、できるだけ施設の数減らしたほうがよい
ある程度統廃合して、今よりは施設の数減らした方がよい
現在の施設の数減らさずに、このまま維持したほうがよい
よくわからない
無回答

2.調査結果詳細 《市民一般》

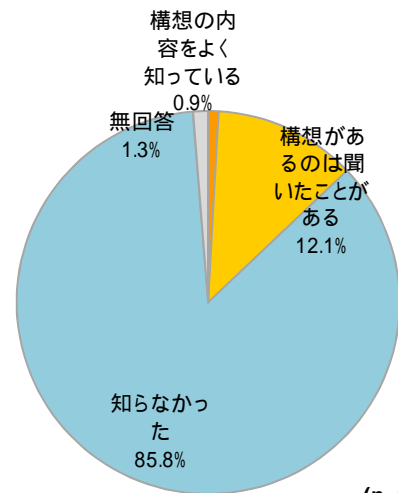
Q9. 現在、安曇野市では、「文化芸術施設の整備・充実」を図るために、現在の博物館・美術館を見直して、安曇野市の文化を担う中心的な施設となる「新市立博物館」の設置を目指しています。こうした構想があることをご存知ですか。もっとも当てはまるものを一つだけお答えください。(あてはまるものを一つだけ回答)

▶新市立博物館の構想について、『知らなかった』は約86%と、最も多くなっています。このほか、『構想があるのは聞いたことがある』は約12%、『構想の内容をよく知っている』は僅か約1%にとどまっています。

	人数	割合(%)
認知計	163	12.9
構想の内容をよく知っている	11	0.9
構想があるのは聞いたことがある	152	12.1
知らなかった	1,082	85.8
無回答	16	1.3
回答者数(%ベース)	1,261	100.0

認知計 = 構想の内容をよく知っている +
構想があるのは聞いたことがある

認知計
12.9

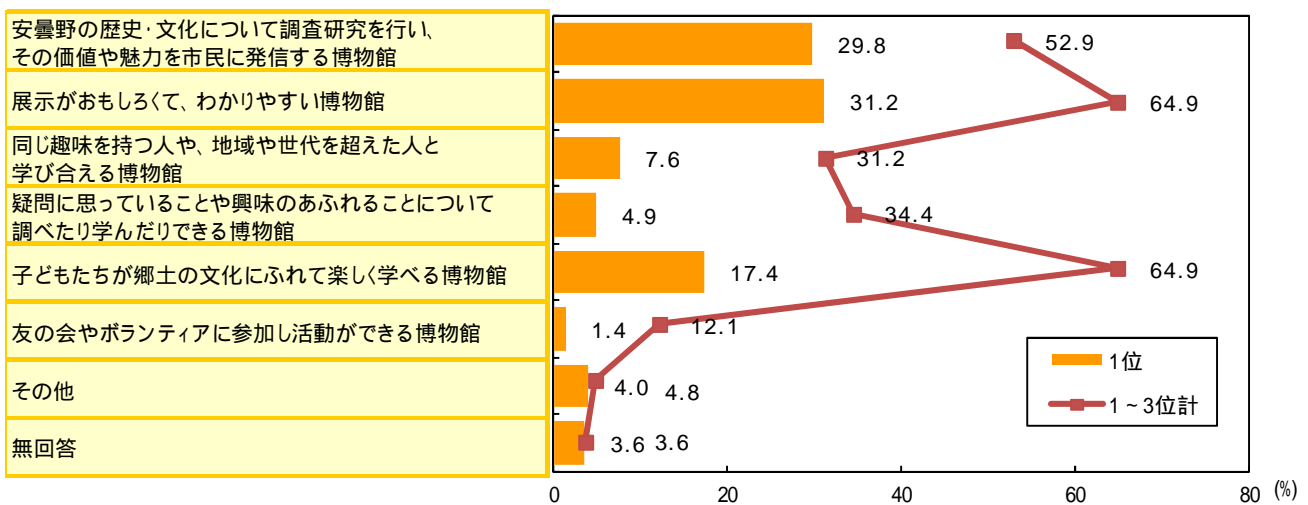


2.調査結果詳細 《市民一般》

Q10. 安曇野市に新しく博物館ができるとすれば、どのような博物館を期待しますか。当てはまるものを上位3つまでお答えください。

- ✦ 安曇野市に新しくできる博物館への期待で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『展示がおもしろくて、わかりやすい博物館』となり、約31%となっています。
- ✦ 1～3位計は、『展示がおもしろくて、わかりやすい博物館』、『子どもたちが郷土の文化にふれて楽しく学べる博物館』がともに約65%で最も多くなります。

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
安曇野の歴史・文化について調査研究を行い、その価値や魅力を市民に発信する博物館	376	29.8	667	52.9
展示がおもしろくて、わかりやすい博物館	393	31.2	819	64.9
同じ趣味を持つ人や、地域や世代を超えた人と学び合える博物館	96	7.6	393	31.2
疑問に思っていることや興味のあることについて調べたり学んだりできる博物館	62	4.9	434	34.4
子どもたちが郷土の文化にふれて楽しく学べる博物館	220	17.4	819	64.9
友の会やボランティアに参加し活動ができる博物館	18	1.4	153	12.1
その他	50	4.0	60	4.8
無回答	46	3.6	46	3.6
回答者数(%ベース)	1,261		1,261	

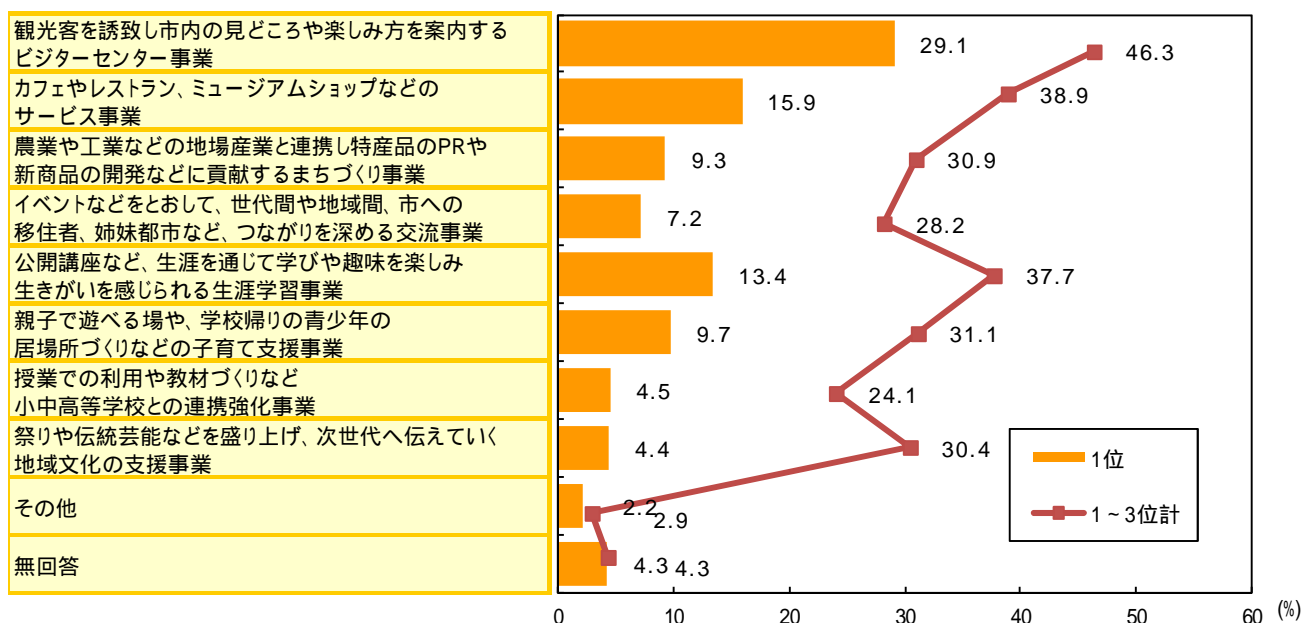


2.調査結果詳細 《市民一般》

Q11. 博物館としての一般的な役割(資料の保存、調査研究、展示など)以外に、新市立博物館にどのような事業や活動を期待しますか。当てはまるものを上位3つまでお答えください。

✦ 博物館としての一般的な役割以外に、新市立博物館に期待する事業や活動で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『観光客を誘致し市内の見どころや楽しみ方を案内するビジターセンター事業』の約29%となっています。このほかに、『カフェやレストラン、ミュージアムショップなどのサービス事業』、『公開講座など、生涯を通じて学びや趣味を楽しみ生きがいを感じられる生涯学習事業』なども1割台と比較的多くなっています。

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
観光客を誘致し市内の見どころや楽しみ方を案内するビジターセンター事業	367	29.1	584	46.3
カフェやレストラン、ミュージアムショップなどのサービス事業	200	15.9	490	38.9
農業や工業などの地場産業と連携し特産品のPRや新商品の開発などに貢献するまちづくり事業	117	9.3	390	30.9
イベントなどをとおして、世代間や地域間、市への移住者、姉妹都市など、つながりを深める交流事業	91	7.2	356	28.2
公開講座など、生涯を通じて学びや趣味を楽しみ生きがいを感じられる生涯学習事業	169	13.4	475	37.7
親子で遊べる場や、学校帰りの青少年の居場所づくりなどの子育て支援事業	122	9.7	392	31.1
授業での利用や教材づくりなど小中高等学校との連携強化事業	57	4.5	304	24.1
祭りや伝統芸能などを盛り上げ、次世代へ伝えていく地域文化の支援事業	56	4.4	383	30.4
その他	28	2.2	36	2.9
無回答	54	4.3	54	4.3
回答者数(%ベース)	1,261		1,261	

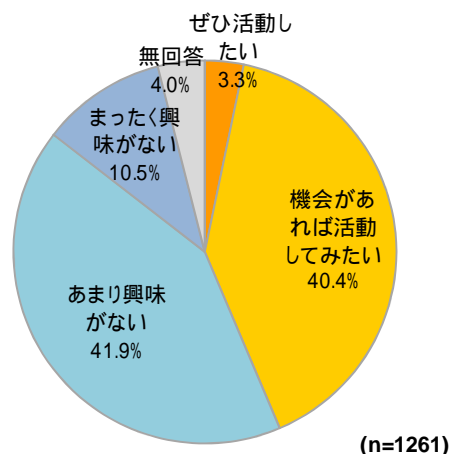


2.調査結果詳細 《市民一般》

Q12. 博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動に興味はありますか。もっとも当てはまるものを一つだけお答えください。
(あてはまるものを一つだけ回答)

✦博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動について、『あまり興味がない』が最も多く、約42%となります。『機会があれば活動してみたい』も多く、4割を超えています。

	人数	割合(%)
活動したい計	550	43.6
ぜひ活動したい	41	3.3
機会があれば活動してみたい	509	40.4
あまり興味がない	528	41.9
まったく興味がない	133	10.5
無回答	50	4.0
回答者数(%ベース)	1,261	100.0



活動したい計	43.6
--------	------

活動したい計 = ぜひ活動したい+機会があれば活動してみたい

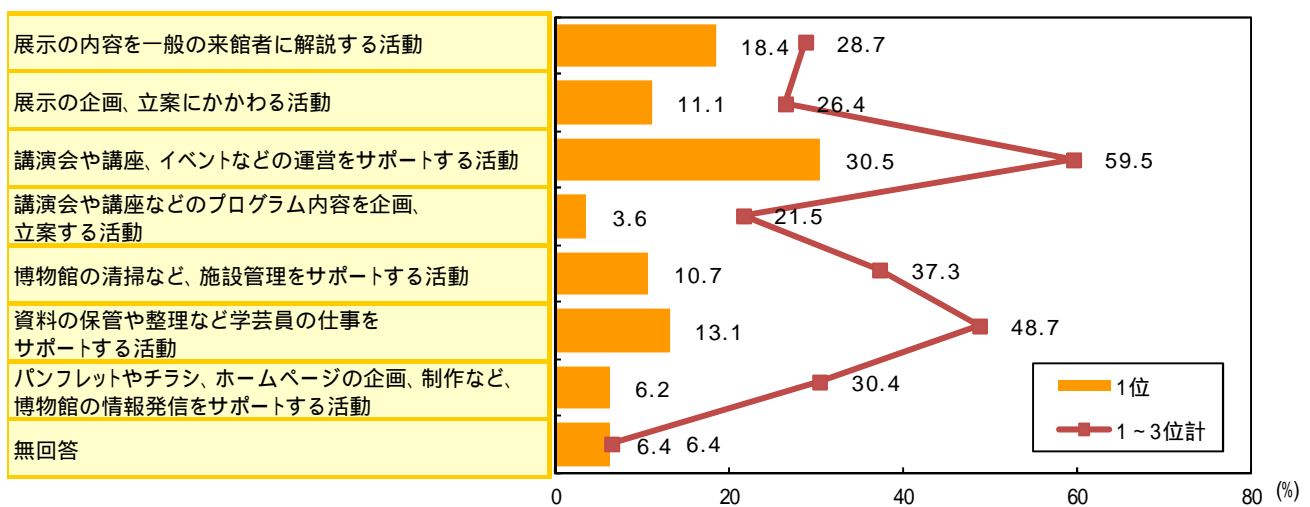
2.調査結果詳細 《市民一般》

Q13. (Q12で「活動したい」「機会があれば活動してみたい」とお答えになった方のみご回答ください。)博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動として具体的にどのような活動を行ってみたいですか。当てはまるものを上位3つまでお答えください。

◆博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動として具体的にやってみたい活動で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『講演会や講座、イベントなどの運営をサポートする活動』で3割を超えています。このほか、『展示の内容を一般の来館者に解説する活動』、『資料の保管や整理など学芸員の仕事をサポートする活動』も比較的多くなっています。

Q12 活動したい 機会があれば活動してみたい 回答者対象

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
展示の内容を一般の来館者に解説する活動	101	18.4	158	28.7
展示の企画、立案にかかわる活動	61	11.1	145	26.4
講演会や講座、イベントなどの運営をサポートする活動	168	30.5	327	59.5
講演会や講座などのプログラム内容を企画、立案する活動	20	3.6	118	21.5
博物館の清掃など、施設管理をサポートする活動	59	10.7	205	37.3
資料の保管や整理など学芸員の仕事をサポートする活動	72	13.1	268	48.7
パンフレットやチラシ、ホームページの企画、制作など、博物館の情報発信をサポートする活動	34	6.2	167	30.4
無回答	35	6.4	35	6.4
回答者数(%ベース)	550		550	

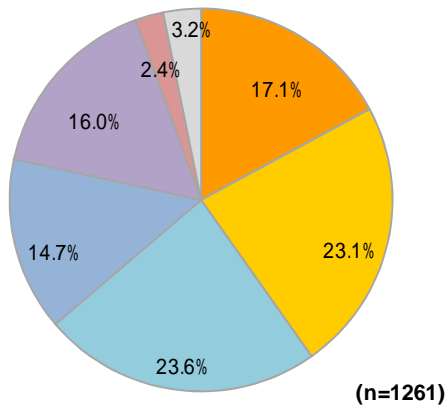


2.調査結果詳細 《市民一般》

Q14. 安曇野市の文化を担う中心的な施設となる「新市立博物館」は、どのような整備が望ましいですか。もっともあてはまるものを一つだけお答えください。(あてはまるもの一つだけ回答)

▶「新市立博物館」の望ましい整備として多かったのは、『現在の博物館を現状のまま利用し、事業や活動の充実を図る』で約24%となっております。『現在の博物館のひとつを増改築し、新設ほど充実できないが、ある程度の整備を行う(分野のみの中規模の博物館)』も約23%となっております。

	人数	割合(%)
新規に博物館を建設し、他の既存施設の一部の機能を集中させる (“気づき”をさせる総合的な博物館)	216	17.1
現在の博物館のひとつを増改築し、新設ほどは充実できないが、ある程度の整備を行う (分野のみの中規模の博物館)	291	23.1
現在の博物館を現状のまま利用し、事業や活動の充実を図る	297	23.6
新市立博物館を整備する必要はない	185	14.7
よくわからない	202	16.0
その他	30	2.4
無回答	40	3.2
回答者数(%ベース)	1,261	100.0



"新規に博物館を建設し、他の既存施設の一部の機能を集中させる
 (“気づき”をさせる総合的な博物館)
 "現在の博物館のひとつを増改築し、新設ほどは充実できないが、
 ある程度の整備を行う(分野のみの中規模の博物館)
 現在の博物館を現状のまま利用し、事業や活動の充実を図る
 新市立博物館を整備する必要はない
 よくわからない
 その他
 無回答

・調査結果
《安曇野市内博物館・美術館来館者》



1.対象者プロフィール

《安曇野市内博物館・美術館来館者》



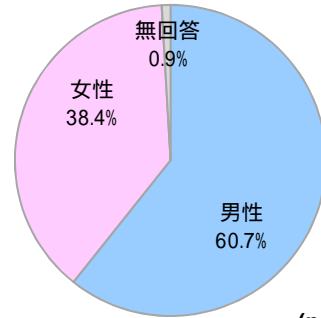
1.対象者プロフィール 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

- 回答いただいた方は、『男性』が約6割、『女性』が約4割となっています。
- 回答いただいた方の年齢層は、『70代』が約3割と、最も多くなっています。このほか、『60代』は4分の1と多くなっています。
- 回答いただいた方の居住地域は、『豊科地区』が最も多く、約4割となっており、『穂高地区』も4割近くとなっています。このほか、三郷地域は約2割で比較的多くなっています。
- 回答いただいた方の安曇野市での居住年数は、『31年以上』が過半数となっています。このほか、『21～30年以内』が約2割、『11～20年以内』が1割台と、比較的多くなっています。

● 性別

	人数	割合 (%)
男性	68	60.7
女性	43	38.4
無回答	1	0.9
回答者数 (%ベース)	112	100.0

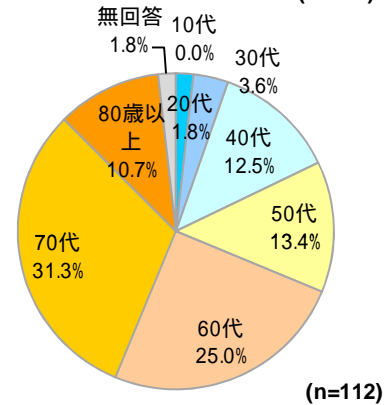
● 性別



● 年代

	人数	割合 (%)
10代	-	0.0
20代	2	1.8
30代	4	3.6
40代	14	12.5
50代	15	13.4
60代	28	25.0
70代	35	31.3
80歳以上	12	10.7
無回答	2	1.8
回答者数 (%ベース)	112	100.0

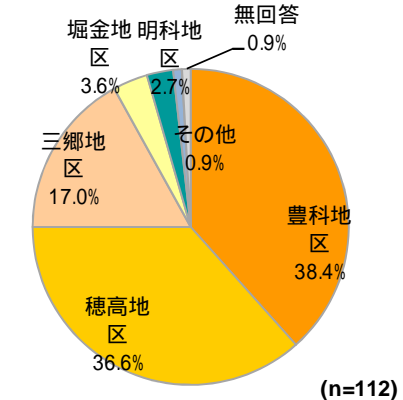
● 年代



● 居住地域

	人数	割合 (%)
豊科地区	43	38.4
穂高地区	41	36.6
三郷地区	19	17.0
堀金地区	4	3.6
明科地区	3	2.7
その他	1	0.9
無回答	1	0.9
回答者数 (%ベース)	112	100.0

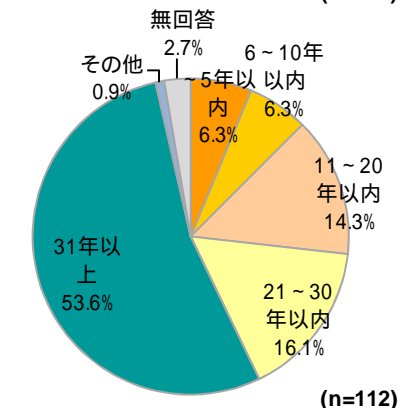
● 居住地域



● 居住年数(合併以前を含む)

	人数	割合 (%)
～5年以内	7	6.3
6～10年以内	7	6.3
11～20年以内	16	14.3
21～30年以内	18	16.1
31年以上	60	53.6
その他	1	0.9
無回答	3	2.7
回答者数 (%ベース)	112	100.0

● 居住年数



2.調査結果詳細

《安曇野市内博物館・美術館来館者》

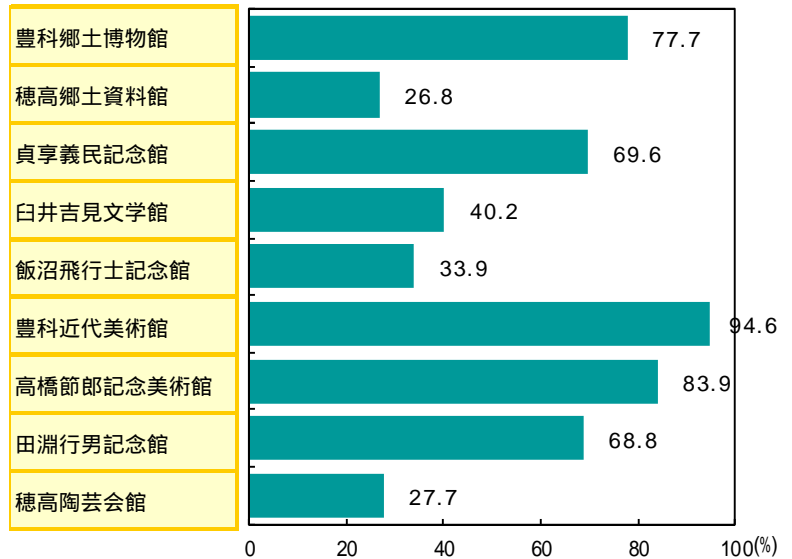


2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q1. 現在、安曇野市には、市立の博物館・美術が9館あります。行ったことのある施設をすべてお答えください。(あてはまるものを全て回答)

✦安曇野市立博物館・美術館で最も多かった、行ったことのある施設は、『豊科近代美術館』で約95%となります。『高橋節郎記念美術館』の約84%、『豊科郷土博物館』の約78%などもかなり多くなっています。このほかに、『貞享義民記念館』の約70%、『田淵行男記念館』の69%なども比較的多く、回答された方の3分の2以上がそれらの施設を訪れています。

	人数	割合(%)
博物館		
豊科郷土博物館	87	77.7
穂高郷土資料館	30	26.8
貞享義民記念館	78	69.6
臼井吉見文学館	45	40.2
飯沼飛行士記念館	38	33.9
美術館		
豊科近代美術館	106	94.6
高橋節郎記念美術館	94	83.9
田淵行男記念館	77	68.8
穂高陶芸会館	31	27.7
回答者数(%ベース)	112	



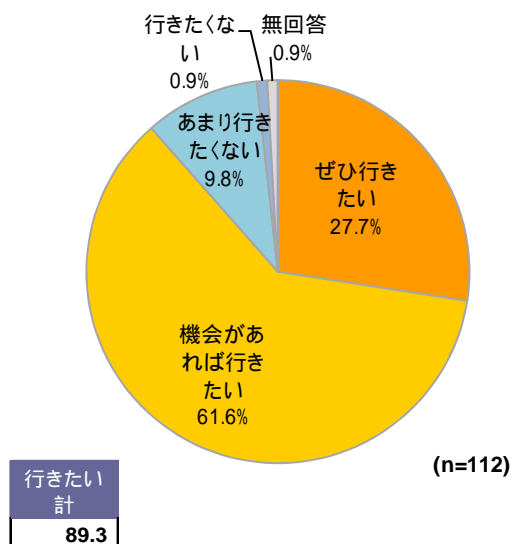
複数回答あり

2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q2. 今後、上記の博物館・美術館のいずれかに行きたいと思えますか。もっとも当てはまるものを一つだけお答えください。(あてはまるものを一つだけ回答)

✦安曇野市立の博物館・美術館のいずれかに行きたいと思うかについては、『機会があれば行きたい』が最も多く、約62%となっています。『ぜひ行きたい』の約28%を合わせると、約89%が、いずれかに行きたいと回答しています。

	人数	割合(%)
行きたい 計	100	89.3
ぜひ行きたい	31	27.7
機会があれば行きたい	69	61.6
あまり行きたくない	11	9.8
行きたくない	1	0.9
無回答	1	0.9
回答者数(%ベース)	112	100.9



行きたい計 = ぜひ行きたい+機会があれば行きたい

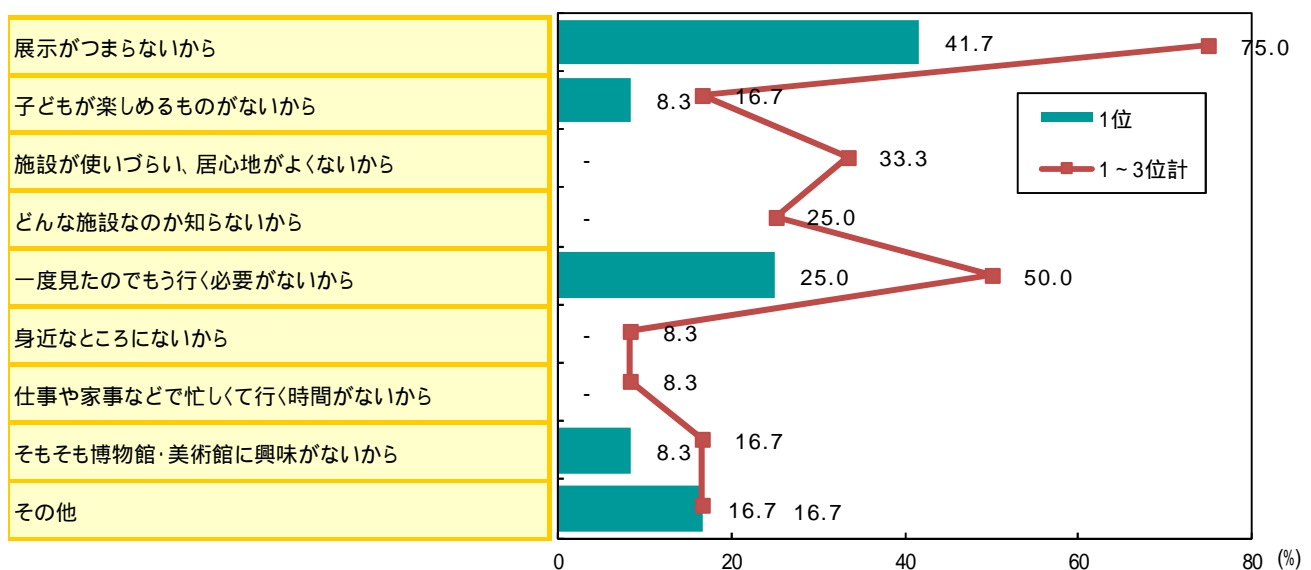
2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q3. (Q2 で あまり行きたくない あるいは 行きたくない とご回答した方のみご回答ください。) 安曇野市の博物館・美術館に行きたくない と回答された理由であてはまるものを上位3つまでお答えください。

- 安曇野市の博物館・美術館に行きたくない と回答された理由で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『展示がつまらないから』で約42%でした。『一度見たのでもう行く必要がないから』も25%と比較的多くなっています。
- 1～3位計として挙げた中で最も多かった回答は、『展示がつまらないから』の75%となっています。

Q2. あまり行きたくない 行きたくない 回答者対象

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
展示がつまらないから	5	41.7	9	75.0
子どもが楽しめるものがないから	1	8.3	2	16.7
施設が使いづらい、居心地がよくないから	-	0.0	4	33.3
どんな施設なのか知らないから	-	0.0	3	25.0
一度見たのでもう行く必要がないから	3	25.0	6	50.0
身近なところがないから	-	0.0	1	8.3
仕事や家事などで忙しくて行く時間がないから	-	0.0	1	8.3
そもそも博物館・美術館に興味がないから	1	8.3	2	16.7
その他	2	16.7	2	16.7
回答者数(%ベース)	12		12	

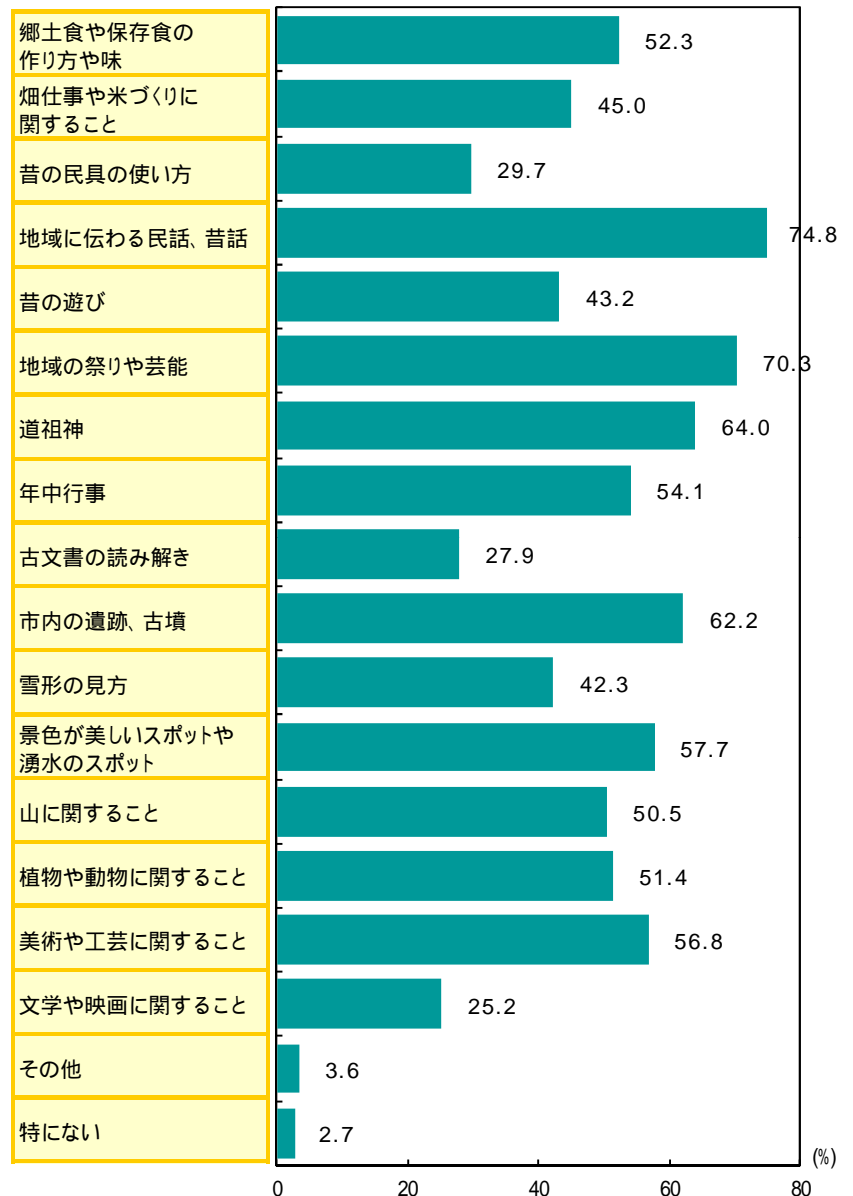


2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q4. 安曇野市の文化について、あなたが持っている知識や情報、経験や技術のうち、子どもたちにぜひ伝えたい、次世代に残したいと思うことを全てご回答ください。(あてはまるものを全て回答)

✦安曇野市の文化について、自分が持っている知識や情報、経験や技術のうち、子どもたちにぜひ伝えたい、次世代に残したいと思うことは分散していますが、最も多かったことは、『地域に伝わる民話、昔話』の約75%でした。このほか、『地域の祭りや芸能』の約70%、『道祖神』の64%、『市内の遺跡、古墳』の約62%も、かなり多くなっています。

	人数	割合 (%)
郷土食や保存食の作り方や味	58	52.3
畑仕事や米づくりに関すること	50	45.0
昔の民具の使い方	33	29.7
地域に伝わる民話、昔話	83	74.8
昔の遊び	48	43.2
地域の祭りや芸能	78	70.3
道祖神	71	64.0
年中行事	60	54.1
古文書の読み解き	31	27.9
市内の遺跡、古墳	69	62.2
雪形の見方	47	42.3
景色が美しいスポットや湧水のスポット	64	57.7
山に関すること	56	50.5
植物や動物に関すること	57	51.4
美術や工芸に関すること	63	56.8
文学や映画に関すること	28	25.2
その他	4	3.6
特にない	3	2.7
回答者数 (%ベース)	111	

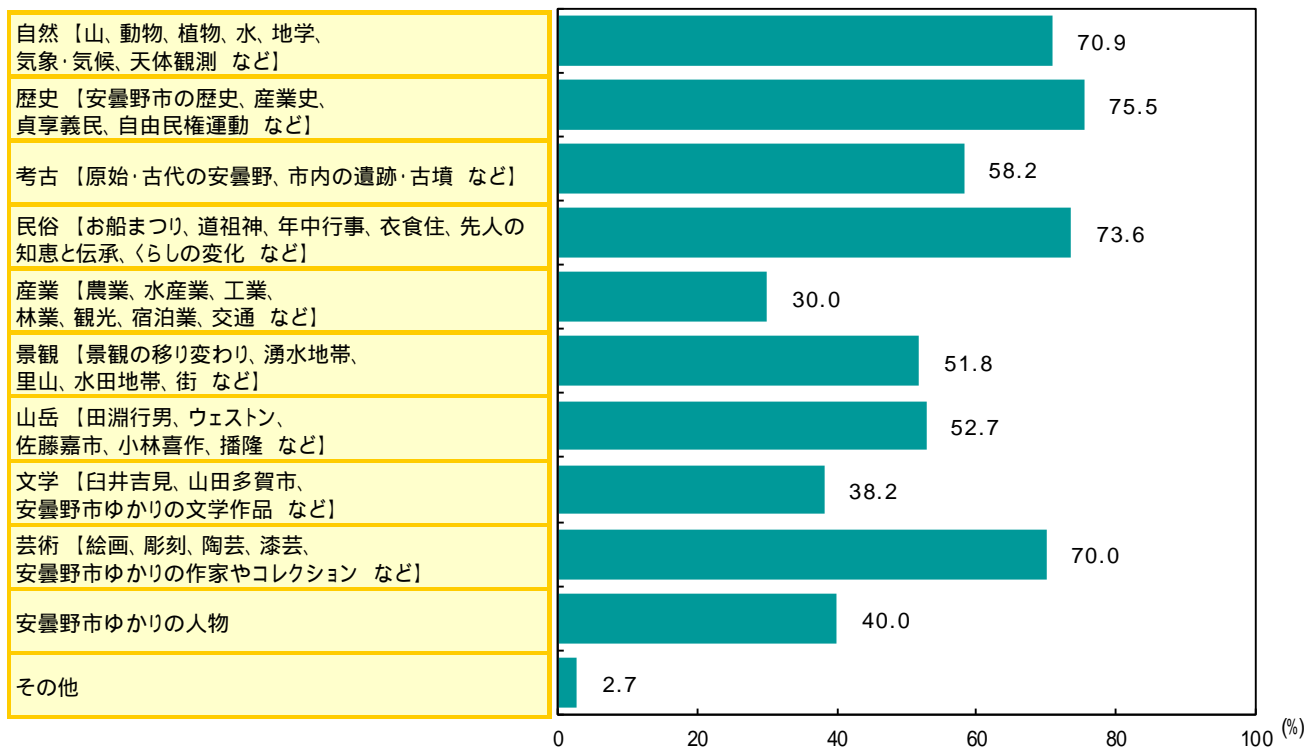


2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q5. 安曇野市の博物館の展示として、どのような分野に興味がありますか。あてはまるものを全てお答えください。(あてはまるもの全て回答)

✦博物館の展示として興味のある分野は、『歴史【安曇野市の歴史、産業史、貞享義民、自由民権運動 など】』が約76%と最も多く、『民俗【お船まつり、道祖神、年中行事、衣食住、先人の知恵と伝承、くらしの変化 など】』は約74%、『自然【山、動物、植物、水、地学、気象・気候、天体観測 など】』は約71%、『芸術【絵画、彫刻、陶芸、漆芸、安曇野市ゆかりの作家やコレクション など】』も70%と、かなり多くなっています。

	人数	割合(%)
自然【山、動物、植物、水、地学、気象・気候、天体観測 など】	78	70.9
歴史【安曇野市の歴史、産業史、貞享義民、自由民権運動 など】	83	75.5
考古【原始・古代の安曇野、市内の遺跡・古墳 など】	64	58.2
民俗【お船まつり、道祖神、年中行事、衣食住、先人の知恵と伝承、くらしの変化 など】	81	73.6
産業【農業、水産業、工業、林業、観光、宿泊業、交通 など】	33	30.0
景観【景観の移り変わり、湧水地帯、里山、水田地帯、街 など】	57	51.8
山岳【田淵行男、ウェストン、佐藤嘉市、小林喜作、播隆 など】	58	52.7
文学【白井吉見、山田多賀市、安曇野市ゆかりの文学作品 など】	42	38.2
芸術【絵画、彫刻、陶芸、漆芸、安曇野市ゆかりの作家やコレクション など】	77	70.0
安曇野市ゆかりの人物	44	40.0
その他	3	2.7
回答者数(%ベース)	110	

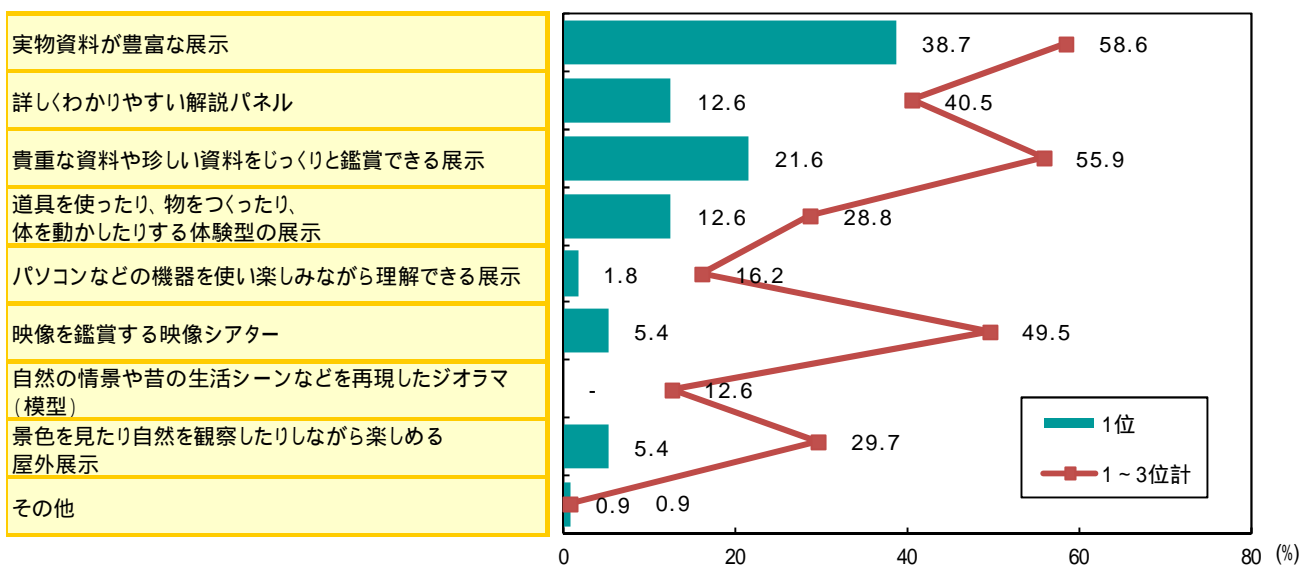


2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q6. 博物館の展示として、どのような展示手法に興味がありますか。あてはまるものを上位3つまでお答えください。

- ✦ 博物館の展示として、興味のわく展示手法で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『実物資料が豊富な展示』の約39%でした。『貴重な資料や珍しい資料をじっくりと鑑賞できる展示』も約22%と多くなっています。
- ✦ 1～3位計として挙げた中で最も多かった回答は、『実物資料が豊富な展示』の約59%であり、次いで、『貴重な資料や珍しい資料をじっくりと鑑賞できる展示』の約56%でした。

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
実物資料が豊富な展示	43	38.7	65	58.6
詳しくわかりやすい解説パネル	14	12.6	45	40.5
貴重な資料や珍しい資料をじっくりと鑑賞できる展示	24	21.6	62	55.9
道具を使ったり、物をつくったり、体を動かしたりする体験型の展示	14	12.6	32	28.8
パソコンなどの機器を使い楽しみながら理解できる展示	2	1.8	18	16.2
映像を鑑賞する映像シアター	6	5.4	55	49.5
自然の情景や昔の生活シーンなどを再現したジオラマ(模型)	-	0.0	14	12.6
景色を見たり自然を観察したりしながら楽しめる屋外展示	6	5.4	33	29.7
その他	1	0.9	1	0.9
回答者数(%ベース)	111		111	

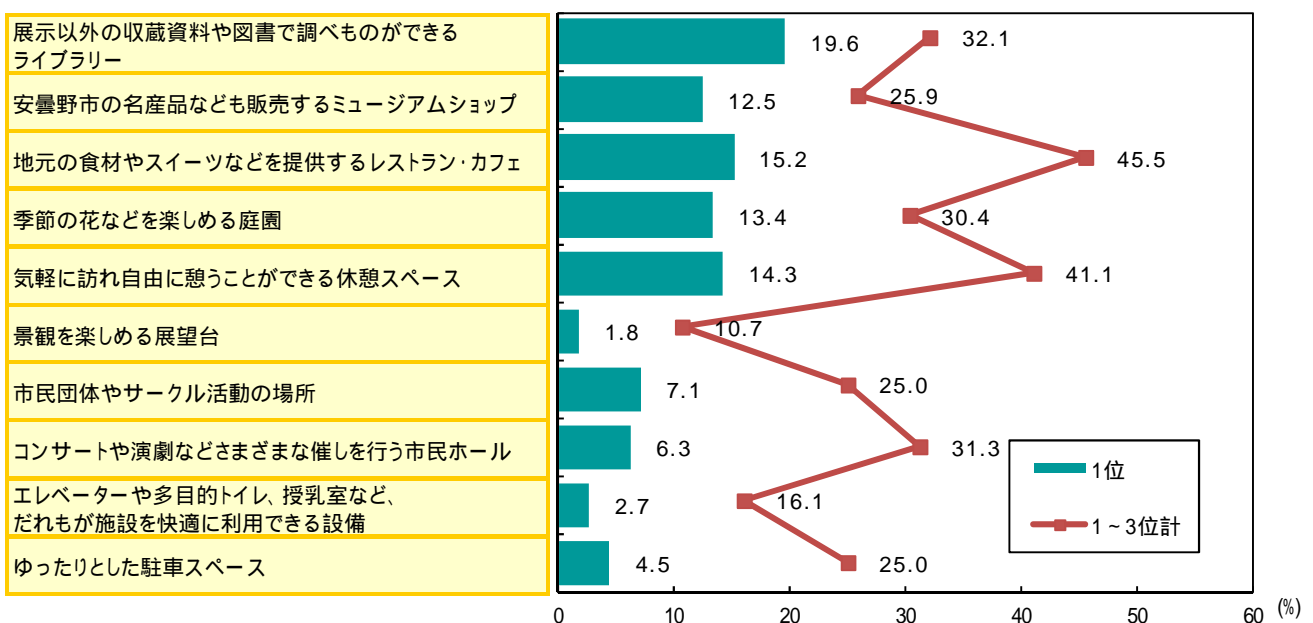


2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q7. 博物館を利用するにあたり、どのような設備を充実してほしいですか。あてはまるものを上位3つまでお答えください。

- ◆博物館を利用するにあたり、充実してほしい設備で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『展示以外の収蔵資料や図書で調べものができるライブラリー』の約20%で、『地元の食材やスイーツなどを提供するレストラン・カフェ』も約15%と多くなっています。
- ◆1～3位として挙げた中で最も多かった回答は、『地元の食材やスイーツなどを提供するレストラン・カフェ』の約46%で、『気軽に訪れ自由に憩うことができる休憩スペース』も約4割と多くなっています。

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
展示以外の収蔵資料や図書で調べものができるライブラリー	22	19.6	36	32.1
安曇野市の名産品なども販売するミュージアムショップ	14	12.5	29	25.9
地元の食材やスイーツなどを提供するレストラン・カフェ	17	15.2	51	45.5
季節の花などを楽しめる庭園	15	13.4	34	30.4
気軽に訪れ自由に憩うことができる休憩スペース	16	14.3	46	41.1
景観を楽しめる展望台	2	1.8	12	10.7
市民団体やサークル活動の場所	8	7.1	28	25.0
コンサートや演劇などさまざまな催しを行う市民ホール	7	6.3	35	31.3
エレベーターや多目的トイレ、授乳室など、だれもが施設を快適に利用できる設備	3	2.7	18	16.1
ゆったりとした駐車スペース	5	4.5	28	25.0
回答者数(%ベース)	112		112	

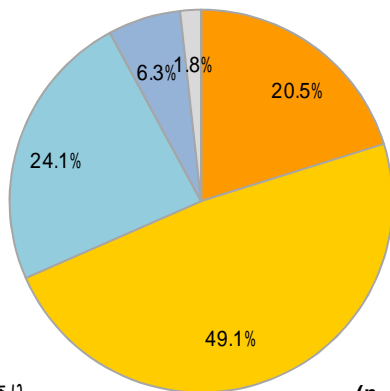


2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q8. 現在の安曇野市が所有する博物館・美術館（9館）を将来的にどのように維持すべきだと思いますか。もっともあてはまるものを一つだけお答えください。（あてはまるもの一つだけ回答）

安曇野市立の博物館・美術館を将来的にどのように維持すべきかについては、『ある程度統廃合して、今よりは施設の数減らしたほうがよい』が約49%と最も多くなっています。『現在の施設の数減らさずに、このまま維持したほうがよい』は約24%、『統廃合を積極的に進めて、できるだけ施設の数減らしたほうがよい』は約21%となっています。

	人数	割合 (%)
減らした方がよい計	78	69.6
統廃合を積極的に進めて、できるだけ施設の数減らしたほうがよい	23	20.5
ある程度統廃合して、今よりは施設の数減らした方がよい	55	49.1
現在の施設の数減らさずに、このまま維持したほうがよい	27	24.1
よくわからない	7	6.3
無回答	2	1.8
回答者数 (%ベース)	112	101.8



複数回答あり

(n=112)

減らした方がよい計
69.6

統廃合を積極的に進めて、できるだけ施設の数減らしたほうがよい
ある程度統廃合して、今よりは施設の数減らした方がよい
現在の施設の数減らさずに、このまま維持したほうがよい
よくわからない
無回答

減らした方がよい計 = +

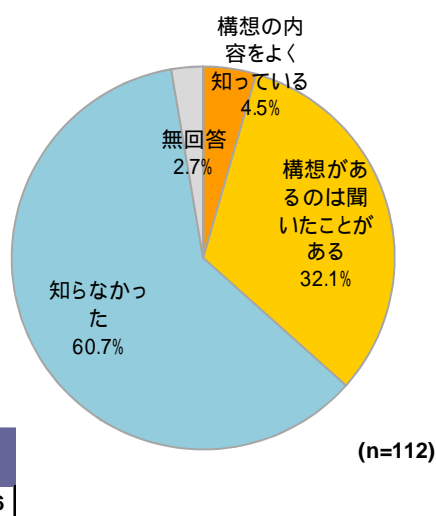
2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q9. 現在、安曇野市では、「文化芸術施設の整備・充実」を図るために、現在の博物館・美術館を見直して、安曇野市の文化を担う中心的な施設となる「新市立博物館」の設置を目指しています。こうした構想があることをご存知ですか。もっとも当てはまるものを一つだけお答えください。(あてはまるものを一つだけ回答)

✦新市立博物館の構想について、『知らなかった』が約6割と、最も多くなっています。このほか、『構想があるのは聞いたことがある』は約3割、『構想の内容をよく知っている』は僅か約5%にとどまっています。

	人数	割合(%)
認知計	41	36.6
構想の内容をよく知っている	5	4.5
構想があるのは聞いたことがある	36	32.1
知らなかった	68	60.7
無回答	3	2.7
回答者数(%ベース)	112	100.0

認知計 = 構想の内容をよく知っている +
構想があるのは聞いたことがある

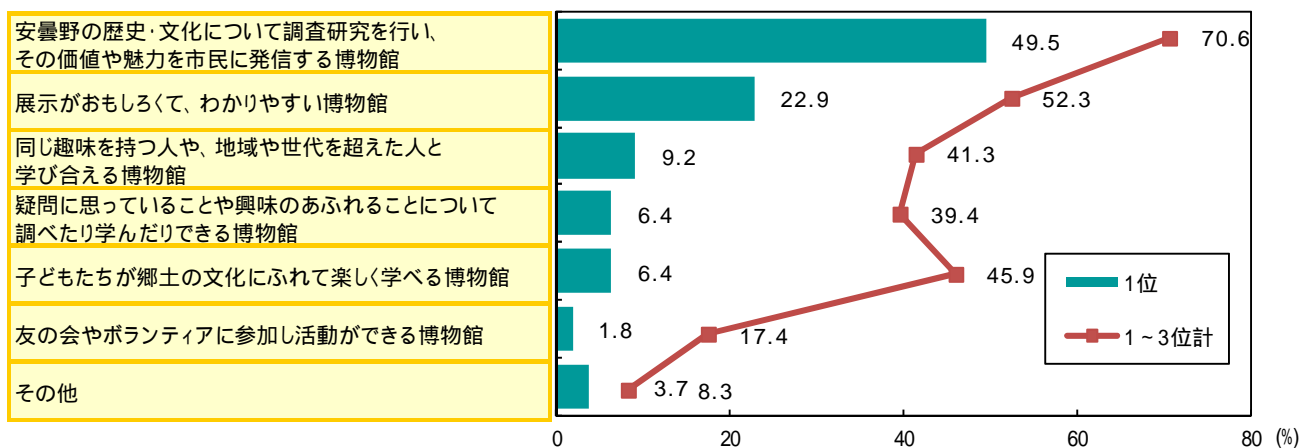


2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q10. 安曇野市に新しく博物館ができるとすれば、どのような博物館を期待しますか。当てはまるものを上位3つまでお答えください。

✦安曇野市に新しくできる博物館への期待で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『安曇野の歴史・文化について調査研究を行い、その価値や魅力を市民に発信する博物館』で、突出して多く、半数近くとなっています。

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
安曇野の歴史・文化について調査研究を行い、その価値や魅力を市民に発信する博物館	54	49.5	77	70.6
展示がおもしろくて、わかりやすい博物館	25	22.9	57	52.3
同じ趣味を持つ人や、地域や世代を超えた人と学び合える博物館	10	9.2	45	41.3
疑問に思っていることや興味のあることについて調べたり学んだりできる博物館	7	6.4	43	39.4
子どもたちが郷土の文化にふれて楽しく学べる博物館	7	6.4	50	45.9
友の会やボランティアに参加し活動ができる博物館	2	1.8	19	17.4
その他	4	3.7	9	8.3
回答者数(%ベース)	109		109	

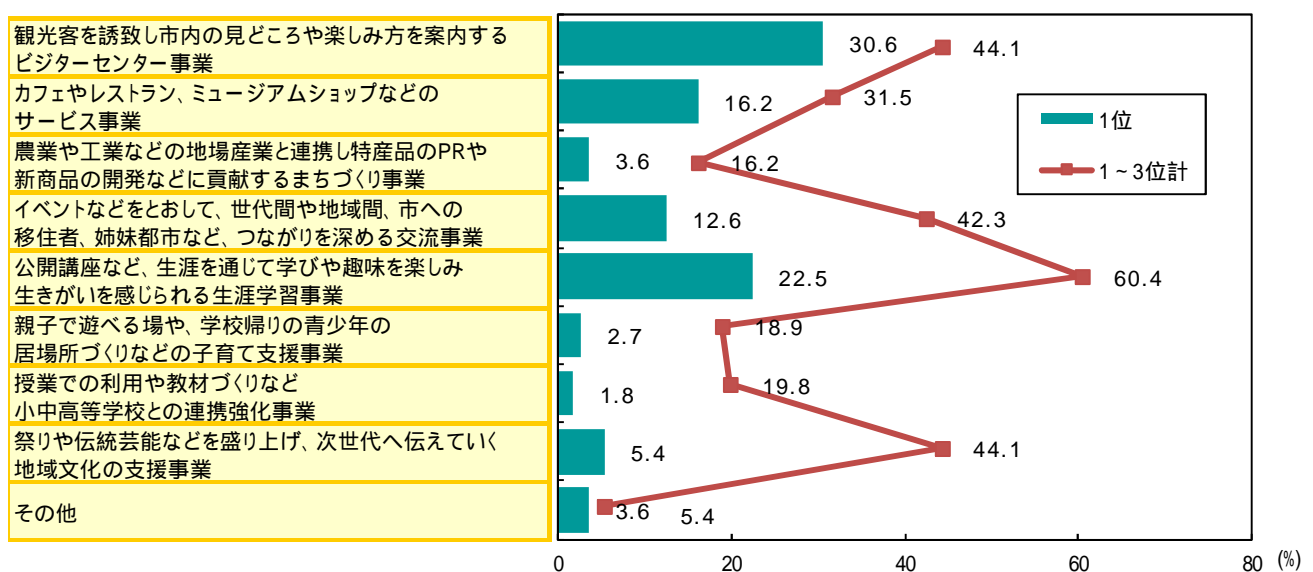


2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q11. 博物館としての一般的な役割(資料の保存、調査研究、展示など)以外に、新市立博物館にどのような事業や活動を期待しますか。当てはまるものを上位3つまでお答えください。

博物館としての一般的な役割以外に、新市立博物館に期待する事業や活動で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『観光客を誘致し市内の見どころや楽しみ方を案内するビジターセンター事業』の約3割となっています。このほかに、『公開講座など、生涯を通じて学びや趣味を楽しむ生きがいを感じられる生涯学習事業』なども多くなっています。

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
観光客を誘致し市内の見どころや楽しみ方を案内するビジターセンター事業	34	30.6	49	44.1
カフェやレストラン、ミュージアムショップなどのサービス事業	18	16.2	35	31.5
農業や工業などの地場産業と連携し特産品のPRや新商品の開発などに貢献するまちづくり事業	4	3.6	18	16.2
イベントなどをとおして、世代間や地域間、市への移住者、姉妹都市など、つながりを深める交流事業	14	12.6	47	42.3
公開講座など、生涯を通じて学びや趣味を楽しむ生きがいを感じられる生涯学習事業	25	22.5	67	60.4
親子で遊べる場や、学校帰りの青少年の居場所づくりなどの子育て支援事業	3	2.7	21	18.9
授業での利用や教材づくりなど小中高等学校との連携強化事業	2	1.8	22	19.8
祭りや伝統芸能などを盛り上げ、次世代へ伝えていく地域文化の支援事業	6	5.4	49	44.1
その他	4	3.6	6	5.4
回答者数(%ベース)	111		111	

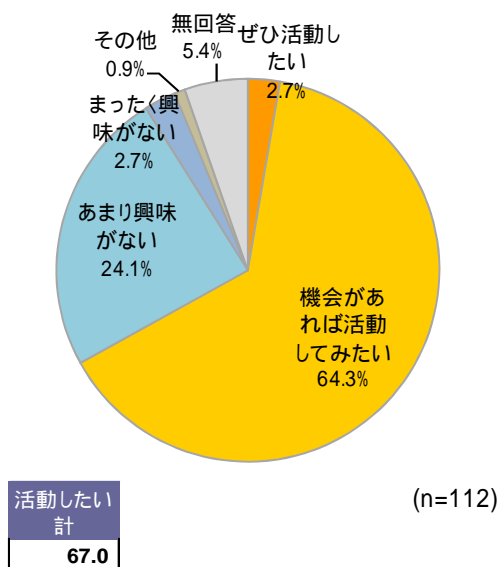


2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q12. 博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動に興味はありますか。もっとも当てはまるものを一つだけお答えください。
(あてはまるものを一つだけ回答)

★博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動について、『機会があれば活動してみたい』が最も多く、6割を超えています。

	人数	割合(%)
活動したい 計	75	67.0
ぜひ活動したい	3	2.7
機会があれば活動してみたい	72	64.3
あまり興味がない	27	24.1
まったく興味がない	3	2.7
その他	1	0.9
無回答	6	5.4
回答者数(%ベース)	112	100.0



活動したい 計 = ぜひ活動したい+機会があれば活動してみたい

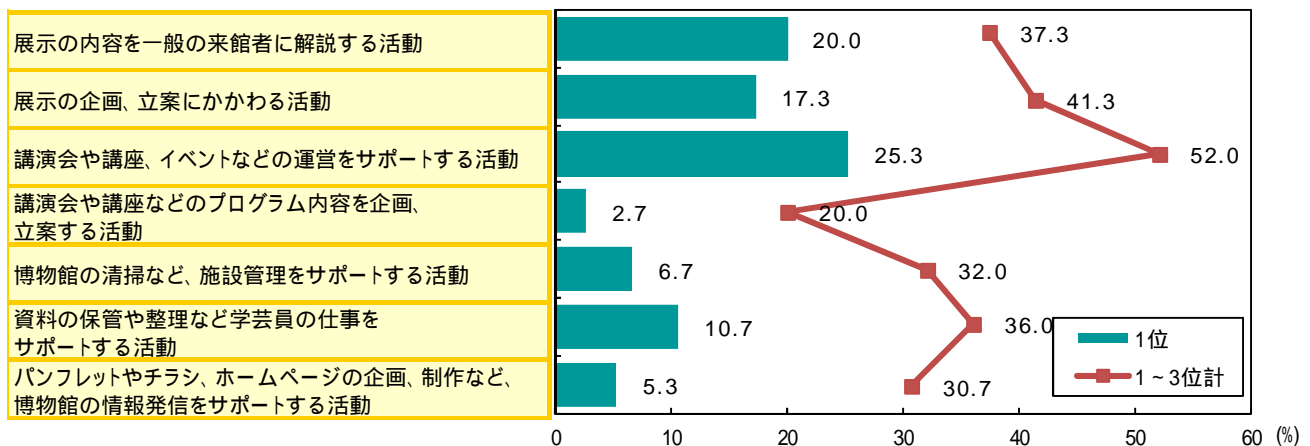
2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q13. (Q12で「活動したい」「機会があれば活動してみたい」とお答えになった方のみご回答ください。)博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動として具体的にどのような活動を行ってみたいですか。当てはまるものを上位3つまでお答えください。

◆博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動として具体的にやってみたい活動で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、『講演会や講座、イベントなどの運営をサポートする活動』で約4分の1となっています。このほか、『展示の内容を一般の来館者に解説する活動』、『展示の企画、立案にかかわる活動』なども比較的多くなっています。

Q12 活動したい 機会があれば活動してみたい 回答者対象

	1位		1～3位計	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
展示の内容を一般の来館者に解説する活動	15	20.0	28	37.3
展示の企画、立案にかかわる活動	13	17.3	31	41.3
講演会や講座、イベントなどの運営をサポートする活動	19	25.3	39	52.0
講演会や講座などのプログラム内容を企画、立案する活動	2	2.7	15	20.0
博物館の清掃など、施設管理をサポートする活動	5	6.7	24	32.0
資料の保管や整理など学芸員の仕事をサポートする活動	8	10.7	27	36.0
パンフレットやチラシ、ホームページの企画、制作など、博物館の情報発信をサポートする活動	4	5.3	23	30.7
回答者数(%ベース)	75		75	

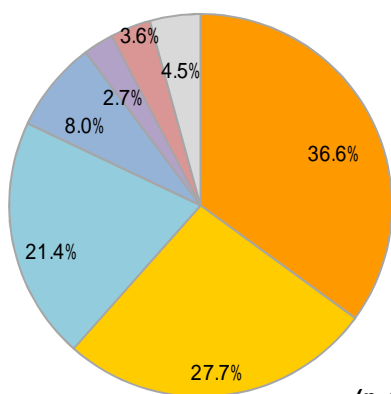


2.調査結果詳細 《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q14. 安曇野市の文化を担う中心的な施設となる「新市立博物館」は、どのような整備が望ましいですか、もっともあてはまるものを一つだけお答えください。(あてはまるもの一つだけ回答)

✦「新市立博物館」の望ましい整備として最も多かったのは、「新規に博物館を建設し、他の既存施設の一部の機能を集中させる(“気づき”をさせる総合的な博物館)」の約4割となっています。このほか、「現在の博物館のひとつを増改築し、新設ほど充実できないが、ある程度の整備を行う(分野のみの中規模の博物館)」は約3割、「現在の博物館を現状のまま利用し、事業や活動の充実を図る」は2割などとなっています。

	人数	割合(%)
新規に博物館を建設し、他の既存施設の一部の機能を集中させる (“気づき”をさせる総合的な博物館)	41	36.6
現在の博物館のひとつを増改築し、新設ほどは充実できないが、ある程度の整備を行う (分野のみの中規模の博物館)	31	27.7
現在の博物館を現状のまま利用し、事業や活動の充実を図る	24	21.4
新市立博物館を整備する必要はない	9	8.0
よくわからない	3	2.7
その他	4	3.6
無回答	5	4.5
回答者数(%ベース)	112	104.5



複数回答あり

"新規に博物館を建設し、他の既存施設の一部の機能を集中させる
 (“気づき”をさせる総合的な博物館)
 "現在の博物館のひとつを増改築し、新設ほどは充実できないが、
 ある程度の整備を行う(分野のみの中規模の博物館)
 現在の博物館を現状のまま利用し、事業や活動の充実を図る
 新市立博物館を整備する必要はない
 よくわからない
 その他
 無回答

. 調查結果

《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》



1.対象者プロフィール

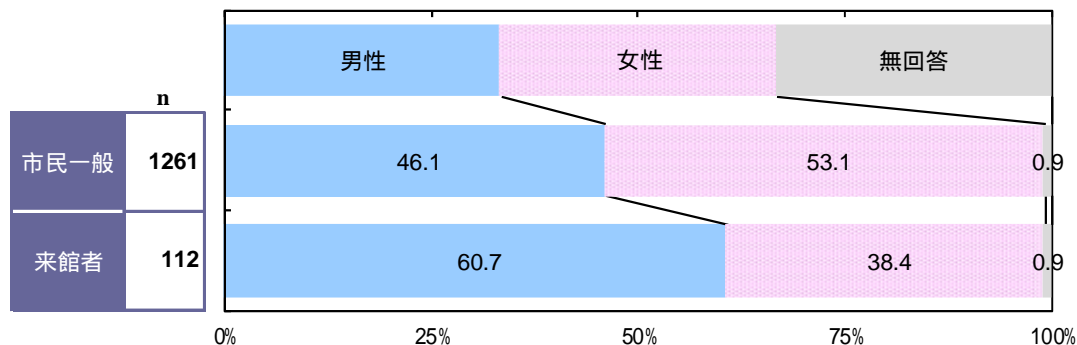
《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》



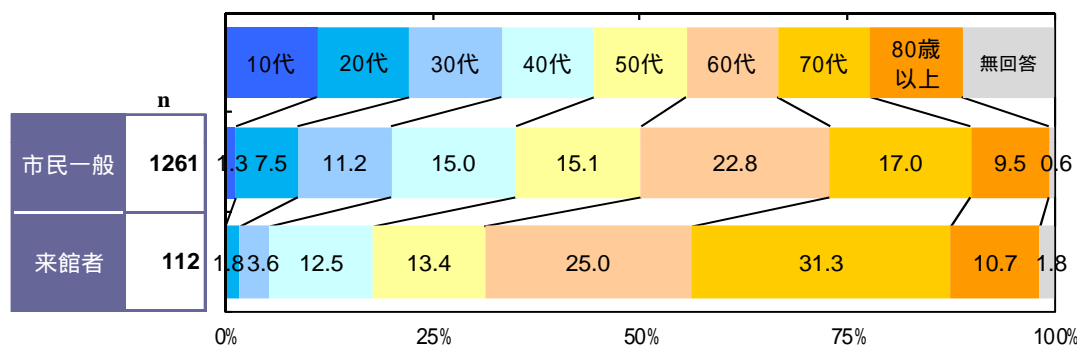
1.対象者プロフィール 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

- 回答いただいた方は、博物館・美術館来館者は『男性』が約6割となっていて、市民一般よりも多くなっております。
- 回答いただいた方の年齢層は、博物館・美術館来館者は『70代』が約3割と、市民一般に比べ多くなっています。このほか、『20代』、『30代』は市民一般がやや多くなっています。
- 回答いただいた方の居住地域は、市民一般は博物館・美術館来館者に比べ、やや『明科地区』が多く1割近くとなります。一方博物館・美術館来館者は、『豊科地区』がやや多く、約4割となっております。
- 安曇野市の居住年数は、市民一般と博物館・美術館来館者の間で目立った差はありません。

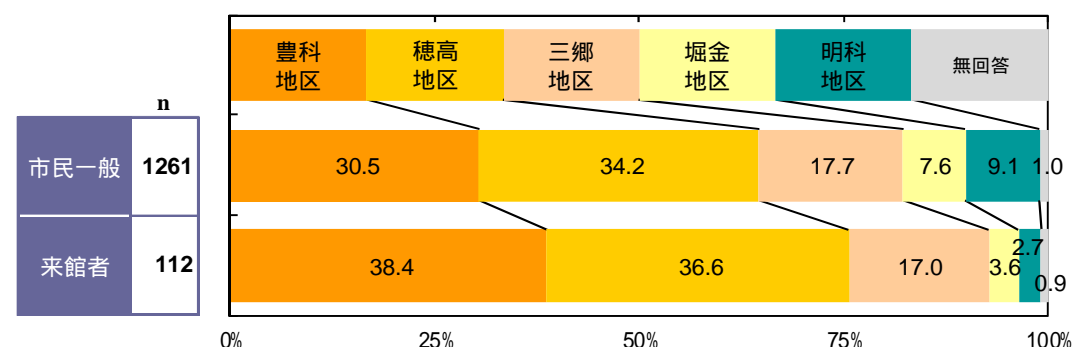
● 性別



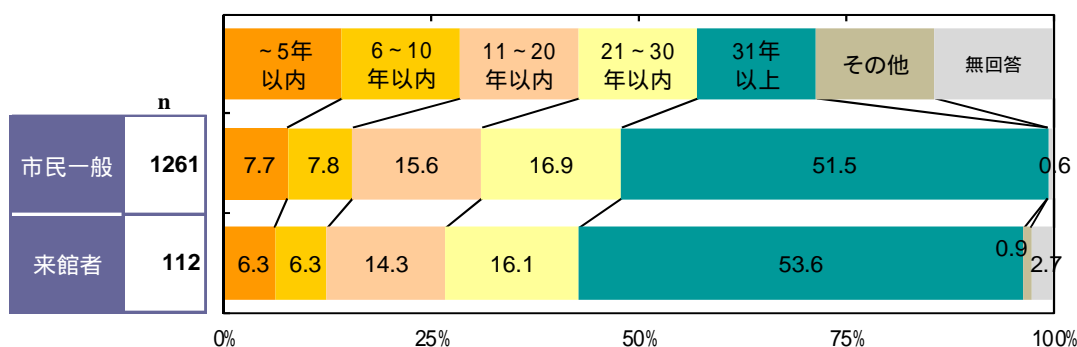
● 年代



● 居住地域



● 居住年数



2.調查結果詳細

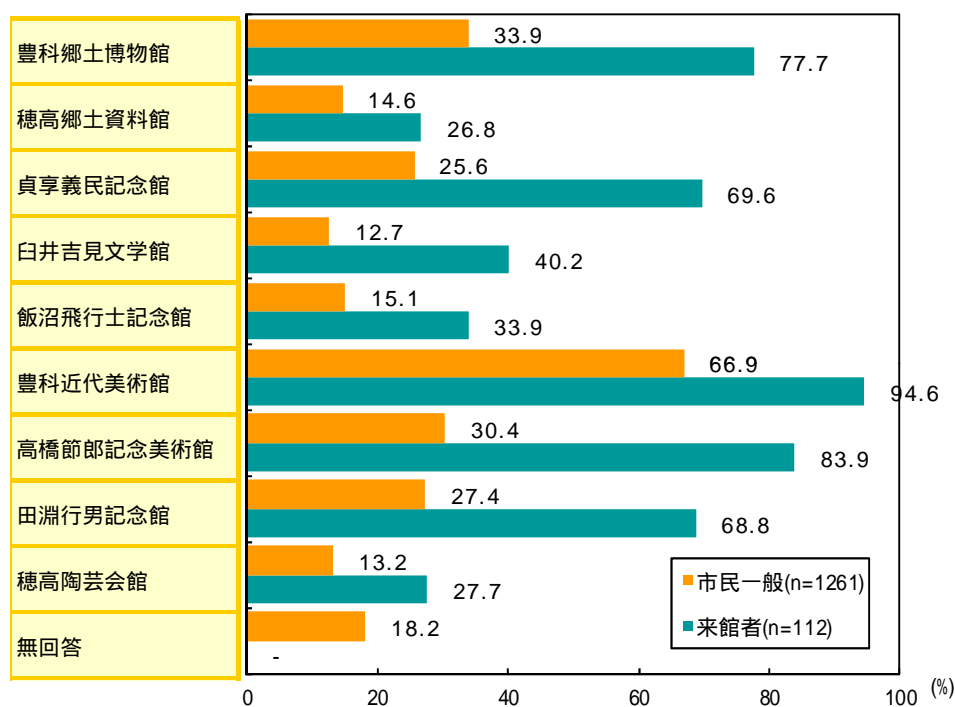
《市民一般・安曇野市内博物館・美術館来館者比較》



2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q1. 現在、安曇野市には、市立の博物館・美術が9館あります。行ったことのある施設をすべてお答えください。
(あてはまるものを全て回答)

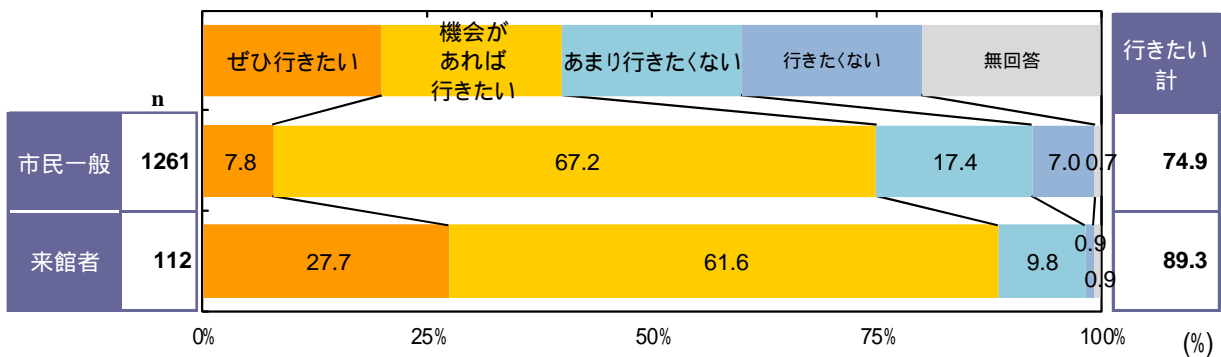
- 安曇野市立博物館・美術館で最も多かった、行ったことのある施設は、市民一般、博物館・美術館来館者ともに『豊科近代美術館』となっております。
- 博物館・美術館来館者は『高橋節郎記念美術館』、『豊科郷土博物館』が7～8割台とかなり多くなっています。一方市民一般は、いずれも3割台となります。



2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q2. 今後、上記の博物館・美術館のいずれかに行きたいと思いませんか、もっとも当てはまるものを一つだけお答えください。
(あてはまるものを一つだけ回答)

✦安曇野市立の博物館・美術館のいずれかに行きたいと思うかについては、『機会があれば行きたい』が市民一般、博物館・美術館来館者ともに最も多く、いずれも6割台となっています。博物館・美術館来館者は『ぜひ行きたい』が約28%であり、博物館・美術館来館者の約89%がいずれかに行きたいと回答しています。



博物館・美術館来館者は複数回答あり

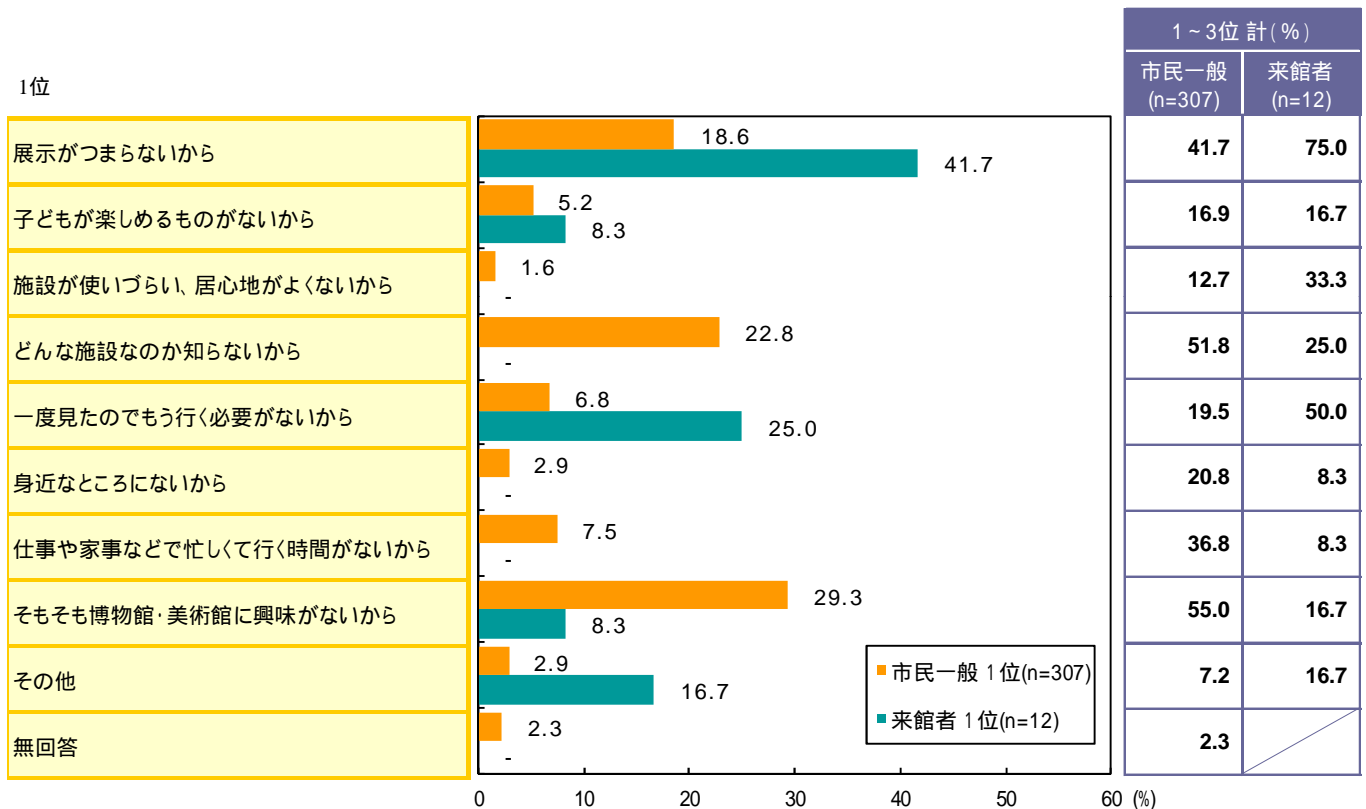
行きたい計 = ぜひ行きたい + 機会があれば行きたい

2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q3. (Q2 で あまり行きたくない あるいは 行きたくない とご回答した方のみご回答ください。)
安曇野市の博物館・美術館に行きたくない と回答された理由であてはまるものを上位3つまでお答えください。

- 安曇野市の博物館・美術館に行きたくない と回答された理由で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、市民一般は『そもそも博物館・美術館に興味がないから』で約29%となっております。一方博物館・美術館来館者は、『展示がつまらないから』で約42%となっております。
- 1～3位計として挙げた中で市民一般は、『どんな施設なのか知らないから』、『そもそも博物館・美術館に興味がないから』がともに半数を超えています。

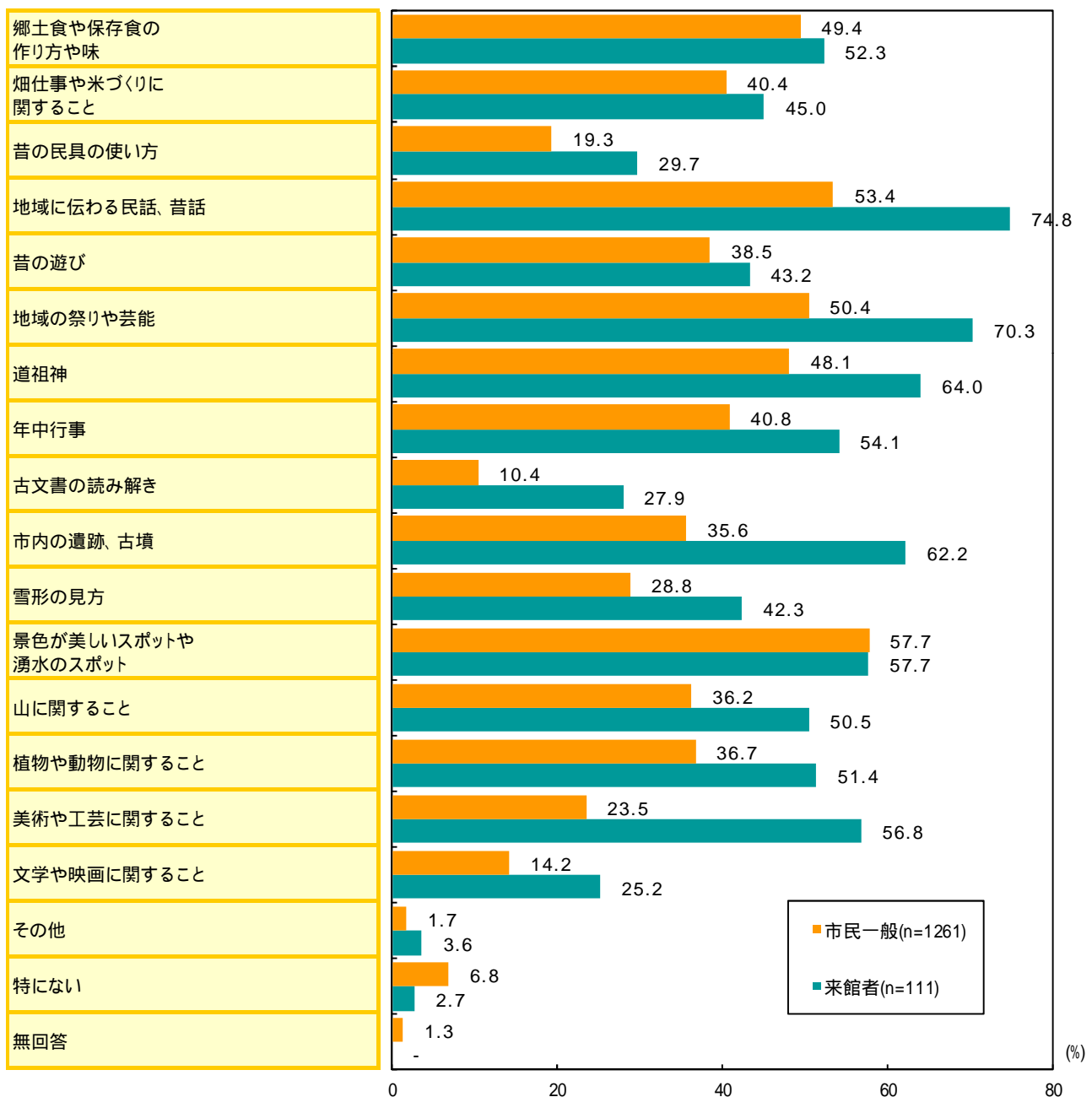
Q2. あまり行きたくない 行きたくない 回答者対象



2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q4. 安曇野市の文化について、あなたが持っている知識や情報、経験や技術のうち、子どもたちにぜひ伝えたい、次世代に残したいと思うことを全てご回答ください。(あてはまるものを全て回答)

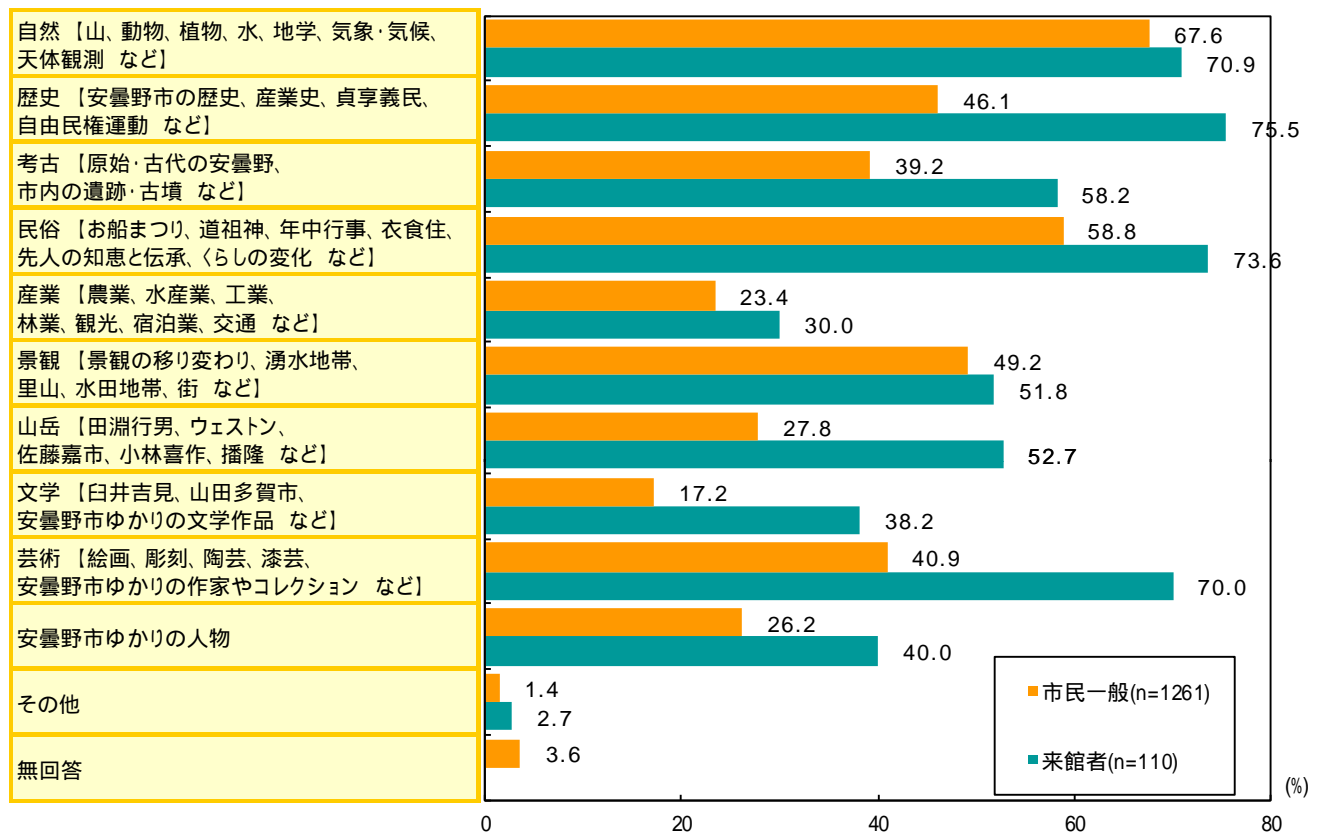
✦安曇野市の文化について、自分が持っている知識や情報、経験や技術のうち、子どもたちにぜひ伝えたい、次世代に残したいと思うことは、博物館・美術館来館者は、市民一般に比べ、『地域に伝わる民話、昔話』、『地域の祭りや芸能』、『市内の遺跡、古墳』、『美術や工芸に関すること』で非常に多くなっています。



2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q5. 安曇野市の博物館の展示として、どのような分野に興味がありますか。あてはまるものを全てお答えください。(あてはまるもの全て回答)

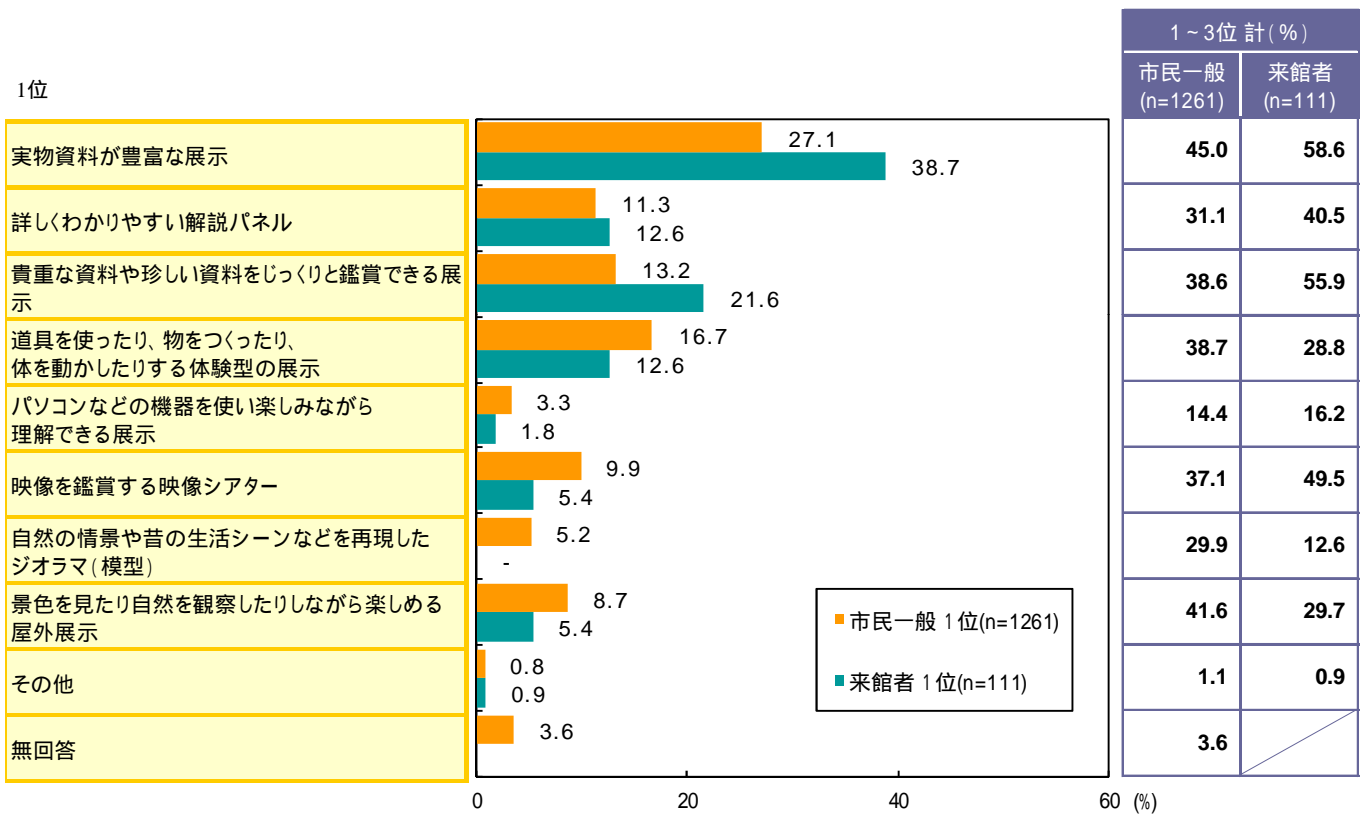
◆博物館の展示として興味のある分野は、博物館・美術館来館者は市民一般に比べ全ての項目で多くなっています。なかでも、『歴史【安曇野市の歴史、産業史、貞享義民、自由民権運動 など】』、『山岳【田淵行男、ウェストン、佐藤嘉市、小林喜作、播隆 など】』、『芸術【絵画、彫刻、陶芸、漆芸、安曇野市ゆかりの作家やコレクション など】』は大きな差があります。



2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q6. 博物館の展示として、どのような展示手法に興味がありますか。あてはまるものを上位3つまでお答えください。

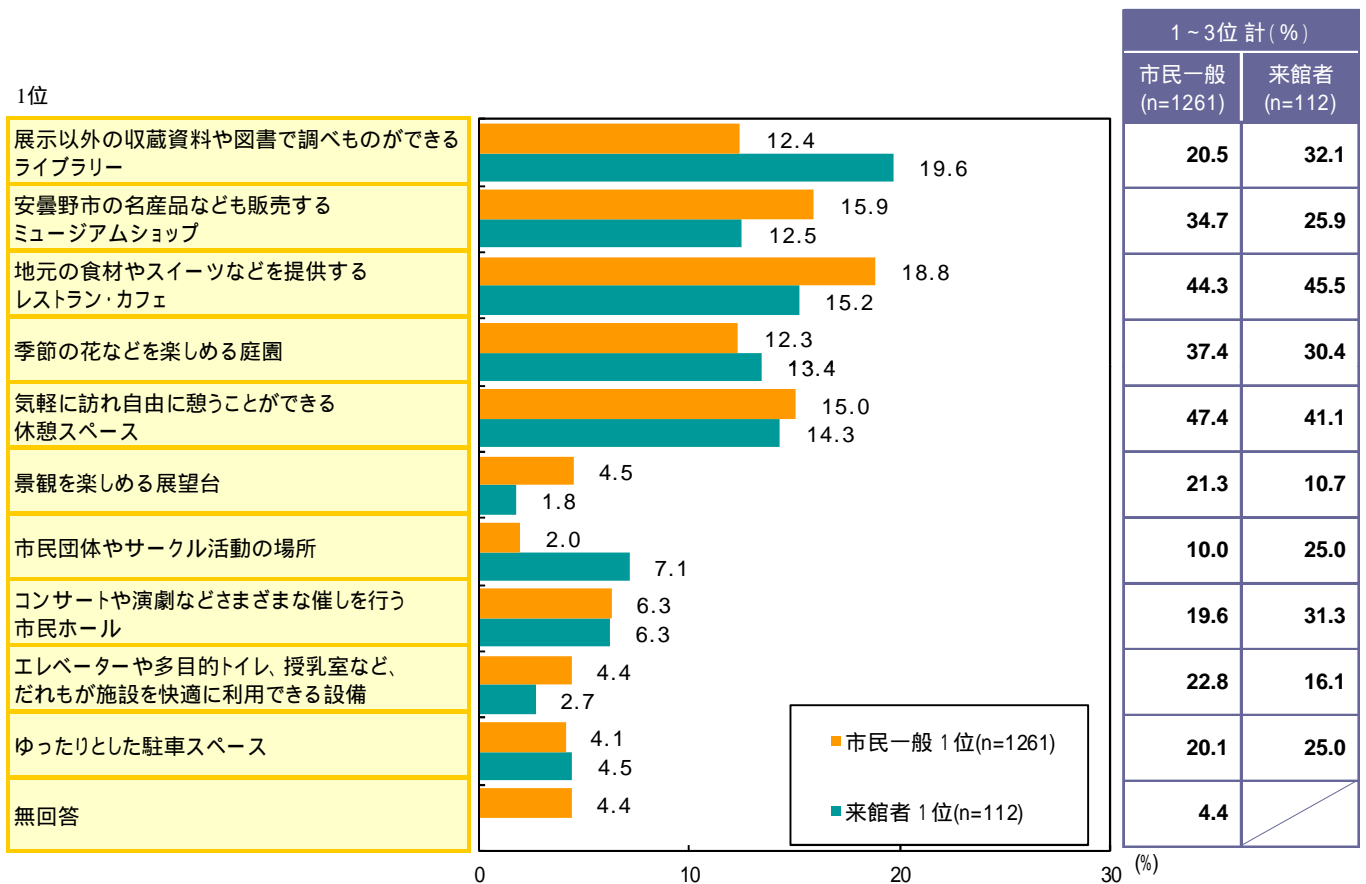
- ✦ 博物館の展示として、興味のわく展示手法で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、市民一般、博物館・美術館来館者ともに、『実物資料が豊富な展示』でした。
- ✦ 1～3位計は、市民一般は博物館・美術館来館者に比べ、『道具を使ったり、物をつくったり、体を動かしたりする体験型の展示』、『自然の情景や昔のシーンなどを再現したジオラマ(模型)』、『景色を見たり自然を観察したりしながら楽しめる屋外展示』が多くなっております。一方博物館・美術館来館者は市民一般に比べ、『実物資料が豊富な展示』、『貴重な資料や珍しい資料をじっくりと鑑賞できる展示』、『映像を鑑賞する映像シアター』が多くなっています。



2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q7. 博物館を利用するにあたり、どのような設備を充実してほしいですか。あてはまるものを上位3つまでお答えください。

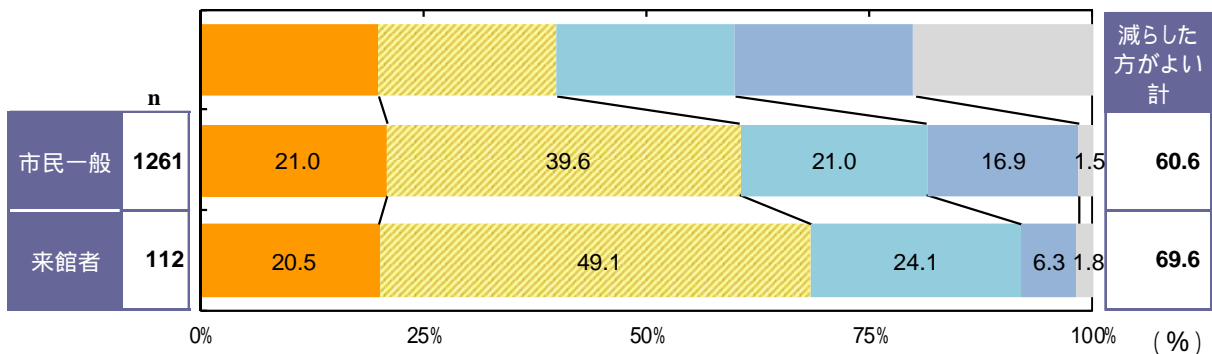
- ✦ 博物館を利用するにあたり、充実してほしい設備で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、市民一般は『地元の食材やスイーツなどを提供するレストラン・カフェ』、博物館・美術館来館者は、『展示以外の収蔵資料や図書で調べものができるライブラリー』となっています。
- ✦ 1～3位計でみると、市民一般は『景観を楽しめる展望台』が博物館・美術館来館者よりも多くなっています。一方博物館・美術館来館者は、『展示以外の収蔵資料や図書で調べものができるライブラリー』、『市民団体やサークル活動の場所』、『コンサートホールや演劇などさまざまな催しを行う市民ホール』の3項目で市民一般よりも多くなっています。



2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q8. 現在の安曇野市が所有する博物館・美術館(9館)を将来的にどのように維持すべきだと思いますか。もっともあてはまるものを一つだけお答えください。(あてはまるもの一つだけ回答)

✦安曇野市立の博物館・美術館を将来的にどのように維持すべきかについて、博物館・美術館来館者は、『ある程度統廃合して、今よりは施設の数減らしたほうがよい』が約49%と市民一般に比べ多くなっています。『統廃合を積極的に進めて、できるだけ施設の数減らしたほうがよい』と合わせると、博物館・美術館来館者の約7割が減らした方がよいと思っております。



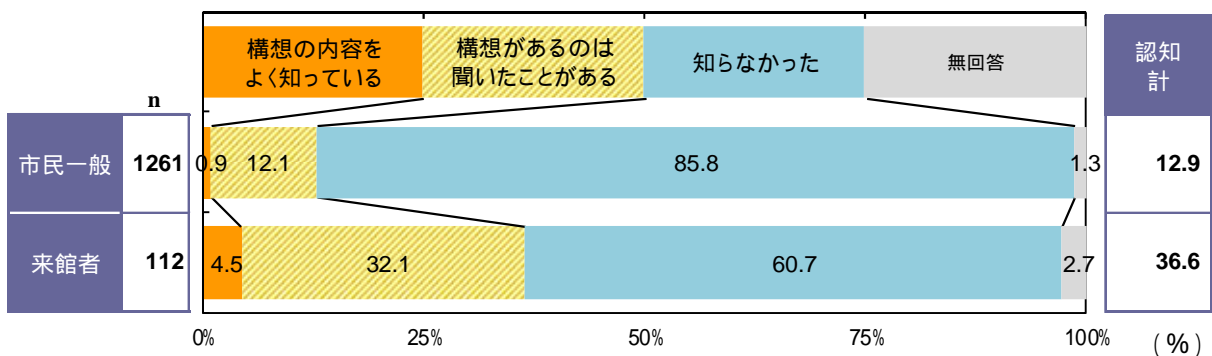
減らした方がよい計 = +
博物館・美術館来館者は
複数回答あり

統廃合を積極的に進めて、できるだけ施設の数減らしたほうがよい
ある程度統廃合して、今よりは施設の数減らしたほうがよい
現在の施設数は減らさずに、このまま維持したほうがよい
よくわからない
無回答

2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q9. 現在、安曇野市では、「文化芸術施設の整備・充実」を図るために、現在の博物館・美術館を見直して、安曇野市の文化を担う中心的な施設となる「新市立博物館」の設置を目指しています。こうした構想があることをご存知ですか。もっとも当てはまるもの一つだけお答えください。(あてはまるもの一つだけ回答)

✦新市立博物館の構想について、「知らなかった」は市民一般が約86%、博物館・美術館来館者が、約60%と、ともに最も多くなっています。このほか、「構想があるのは聞いたことがある」、「構想の内容をよく知っている」を合わせた、構想を認知している方は、博物館・美術館来館者は、約36%、市民一般は約13%となっております。

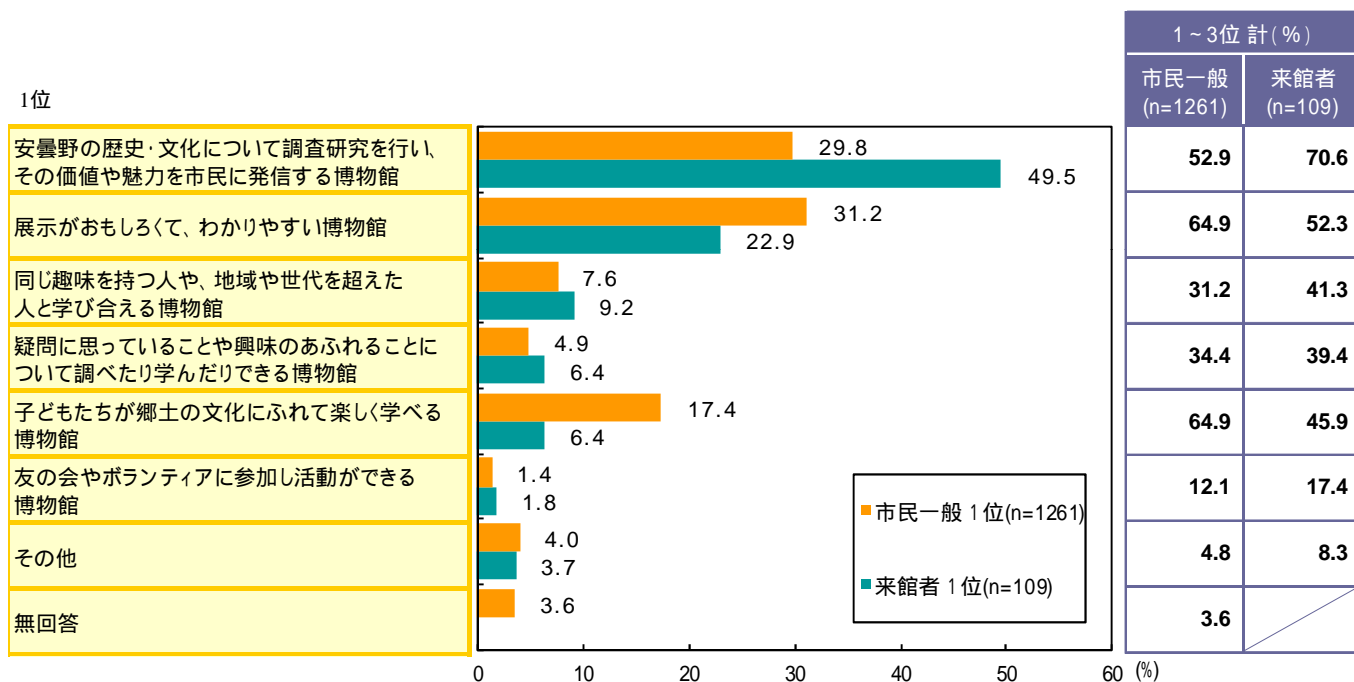


認知計 = 構想の内容をよく知っている + 構想があるのは聞いたことがある

2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q10. 安曇野市に新しく博物館ができるのであれば、どのような博物館を期待しますか。当てはまるものを上位3つまでお答えください。

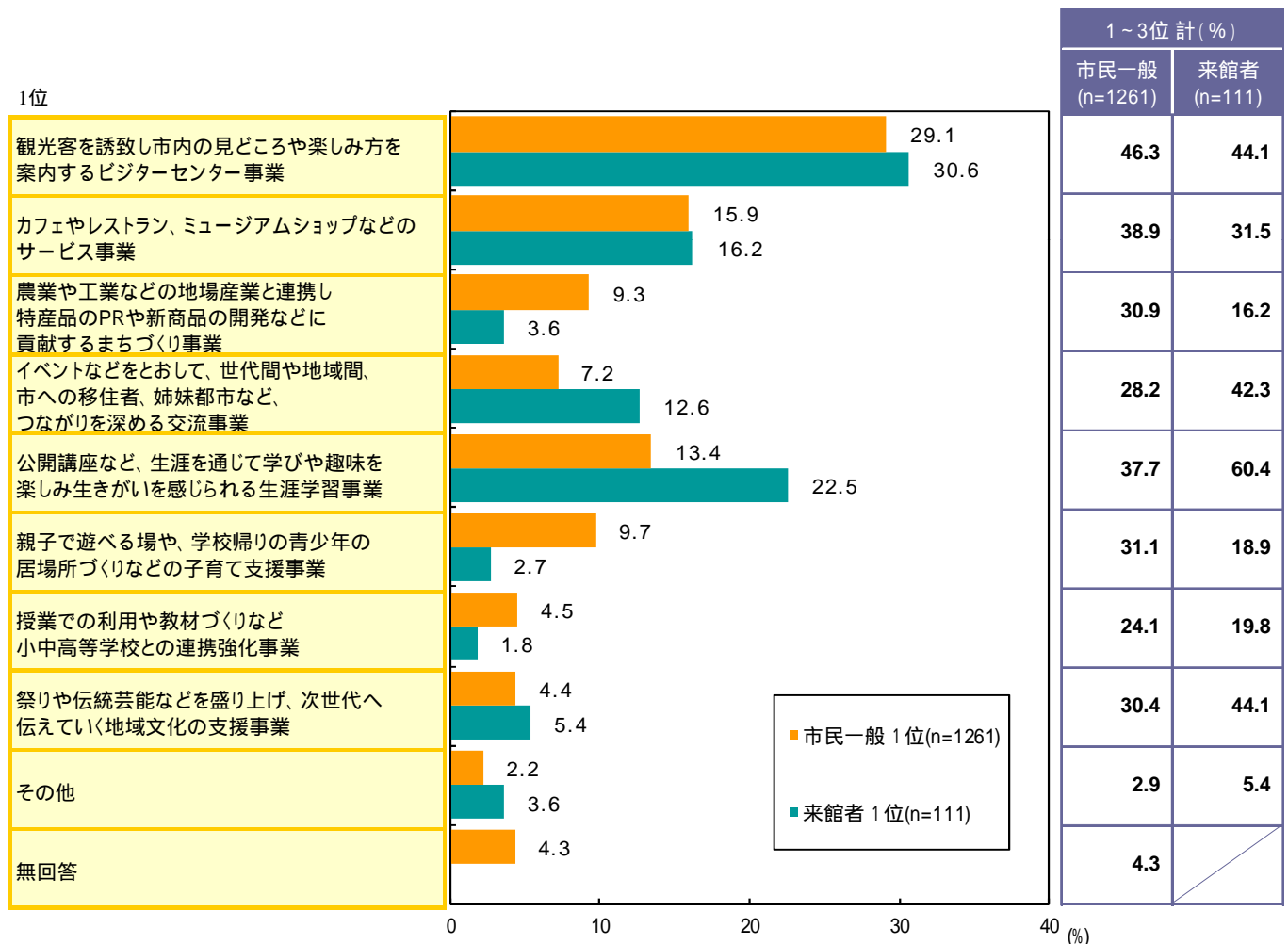
- 安曇野市に新しくできる博物館への期待で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、市民一般は『展示がおもしろくて、わかりやすい博物館』、博物館・美術館来館者は、『安曇野の歴史・文化について調査研究を行い、その価値や魅力を市民に発信する博物館』となっております。
- 1～3位計でみると、市民一般は博物館・美術館来館者に比べ、『展示がおもしろくて、わかりやすい博物館』、『子どもたちが郷土の文化にふれて楽しく学べる博物館』が多くなっています。一方博物館・美術館来館者は、『安曇野の歴史・文化について調査研究を行い、その価値や魅力を市民に発信する博物館』、『同じ趣味を持つ人や、地域や世代を超えた人と学び合える博物館』が市民一般よりも多くなっています。



2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q11. 博物館としての一般的な役割(資料の保存、調査研究、展示など)以外に、新市立博物館にどのような事業や活動を期待しますか。当てはまるものを上位3つまでお答えください。

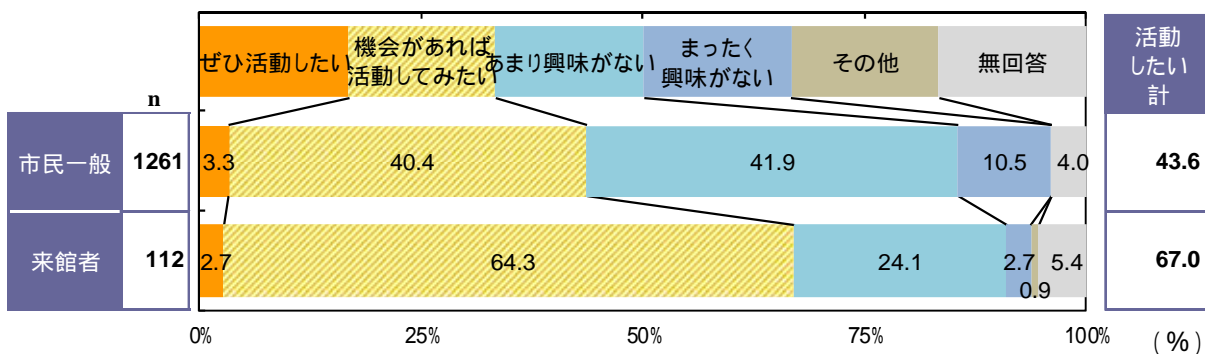
- 博物館としての一般的な役割以外に、新市立博物館に期待する事業や活動で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、市民一般、博物館・美術館来館者ともに、『観光客を誘致し市内の見どころや楽しみ方を案内するビジターセンター事業』で3割前後となっています。
- 1～3位計で見ると、博物館・美術館来館者は市民一般に比べ、『イベントなどとおして、世代間や地域間、市への移住者、姉妹都市など、つながりを深める交流事業』、『公開講座など、生涯を通して学びや趣味を楽しむ生きがいを感じられる生涯学習事業』、『祭りや伝統行事などを盛り上げ、次世代へ伝えていく地域文化の支援事業』が多くなっています。対して市民一般は、『農業や工業などの地場産業と連携し特産品のPRや新商品の開発などに貢献するまちづくり事業』、『親子で遊べる場や、学校帰りの青少年の居場所づくりなどの子育て支援事業』が3割台で博物館・美術館来館者よりも多くなっております。



2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q12. 博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動に興味はありますか、もっとも当てはまるものを一つだけお答えください。
(あてはまるものを一つだけ回答)

✦ 博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動について、博物館・美術館来館者は、『機会があれば活動してみたい』が市民一般よりも多く、6割を超えています。また、『ぜひ活動したい』と合わせた活動意向のある方も67%と、市民一般よりも多くなっております。



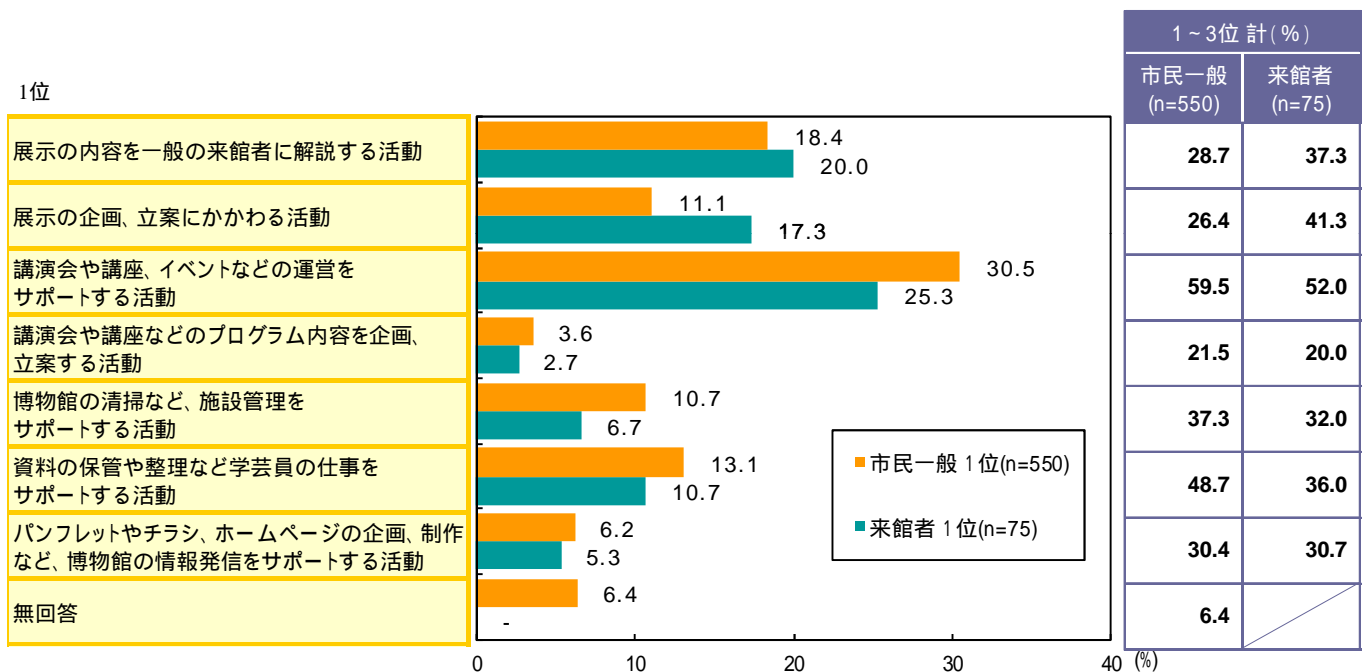
活動したい計 = ぜひ活動したい+機会があれば活動してみたい

2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q13. (Q12で「活動したい」「機会があれば活動してみたい」とお答えになった方のみご回答ください。)博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動として具体的にどのような活動を行ってみたいですか。当てはまるものを上位3つまでお答えください。

- ◆博物館でのボランティア活動や、事業のサポートをする活動として具体的に行ってみたい活動で、1位として挙げた中で最も多かった回答は、市民一般、博物館・美術館来館者ともに、「講演会や講座、イベントなどの運営をサポートする活動」となっています。
- ◆1～3位計で比べると、市民一般は「資料の保管や整理などをサポートする活動」が半数近くとなり、博物館・美術館来館者よりも多くなります。一方博物館・美術館来館者は「展示の企画、立案にかかわる活動」が市民一般よりも多くなっています。

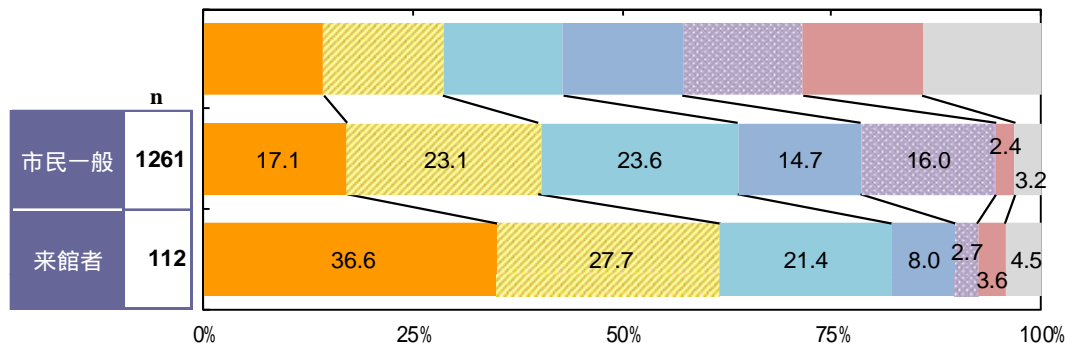
Q12 活動したい 機会があれば活動してみたい 回答者対象



2.調査結果詳細 《市民一般、安曇野市内博物館・美術館来館者比較》

Q14. 安曇野市の文化を担う中心的な施設となる「新市立博物館」は、どのような整備が望ましいですか。もっともあてはまるものを一つだけお答えください。(あてはまるもの一つだけ回答)

- 「新市立博物館」の望ましい整備として最も多かったのは、市民一般は『現在の博物館を現状のまま利用し、事業や活動の充実を図る』で約24%、博物館・美術館来館者は『新規に博物館を建設し、他の既存施設の一部の機能を集中させる(“気づき”をさせる総合的な博物館)』で約37%となっています。
- 市民一般は博物館・美術館来館者に比べ、『よくわからない』が高くなっております。



博物館・美術館来館者は複数回答あり

"新規に博物館を建設し、他の既存施設の一部の機能を集中させる (“気づき”をさせる総合的な博物館)
 "現在の博物館のひとつを増改築し、新設ほどは充実できないが、ある程度の整備を行う(分野のみの中規模の博物館)
 現在の博物館を現状のまま利用し、事業や活動の充実を図る
 新市立博物館を整備する必要はない
 よくわからない
 その他
 無回答

. 自由回答一覽



1.自由回答《市民一般》

Q3. 博物館・美術館に行きたくない理由 その他

その他詳細	性別	年代
人混みが嫌い	男性	10代
地元すぎていきたいと思っただけがない	男性	30代
看板はあるが、建物が博物館・記念館らしくなくて本当にここなのかなと思ってしまう	男性	30代
現在ある9館に興味がない	男性	30代
イベントや展示のやり方に興味が持てない	男性	40代
一般人でも行きたくなくなるような特別展・企画展がない	男性	40代
何が展示してあるかわかりにくい	男性	40代
必要ない	男性	50代
人の名前しかわからないものは何が展示されているかわからない	男性	50代
場所がわかりにくい	男性	50代
施設が多すぎる	男性	70代
高齢のため	男性	80歳以上
激しい腰痛のため、立ってられない	男性	80歳以上
雰囲気が悪くて、開いているかわからない	女性	10代
豊科近代美術館のバラ園は素晴らしいという噂。貞享義民館も庭が美しく、観光客や近くの保育園児などが憩いの場として利用している。館のみならず、田舎ならではの広々とした庭のスペースも人を呼び寄せることに一役買うのではないか	女性	40代
料金が負担	女性	40代
入館料がいる	女性	40代
有料のため金を出してまで見たいと思わない	女性	40代
興味がない	女性	60代
外出することが好きでない	女性	60代
以前行ったところでもまた行きたいと思っただけがない。行っていないところはそれよりも規模が小さいので望むところが見当たらない	女性	60代
92才で外に出るのが大変	女性	80歳以上
乗り物がない	女性	80歳以上
高齢のため	不明	80歳以上

Q4. 次世代に残したい経験や技術 その他

その他詳細	性別	年代
生まれ育った土地ではないので知識がない	男性	40代
安曇野市合併前からの各地域・町村の歴史	男性	40代
音楽。早春賦。熊井啓	男性	50代
碌山	男性	50代
歴史	男性	60代
クラシック音楽の入門	男性	60代
溪流釣り。きのこの種類などマツタケ	男性	60代
方言	男性	60代
水資源に関すること	男性	70代
方言。しきたり	男性	70代
日清・日露・第一次大戦・大東亜戦争についての郷土との関連資料	男性	80歳以上
地域の史実の伝承	男性	80歳以上
天蚕	女性	40代
そば。わさび。円揚げ	女性	40代
デパートも映画館も何も無いこと。当たり前なのが当たり前でない	女性	40代
古典技術の伝承	女性	50代
郷土にまつわるものではないが、物作り	女性	50代
方言	女性	50代
文化人	女性	60代
長年この地を離れていたのではわからない	女性	60代
菌類(植物病原菌・変形菌について)	女性	60代
水の大切さ、どの山からどの川・扇状地を通り湧き出しているかや自然の大切さ	女性	60代
和敬清寂の心・おもてなしの心を伝える	女性	70代
わからない	女性	80歳以上

1.自由回答《市民一般》

Q5. 博物館の展示として興味のある分野 その他

その他詳細	性別	年代
興味がない	男性	20代
特になし	男性	40代
興味がない	男性	40代
特になし	男性	40代
特になし	男性	50代
特になし	男性	50代
音楽	男性	60代
特になし	男性	70代
終戦前後のこと	男性	80歳以上
詩人	男性	80歳以上
特に興味がない	女性	10代
特になし	女性	20代
特になし	女性	40代
仏像	女性	40代
忙しいので暇がない	女性	60代
特になし	女性	70代
特になし	女性	80歳以上

Q6. 興味がわく博物館の展示手法 その他

その他詳細	性別	年代
興味がない	男性	20代
館員が言葉で解説してくれる	男性	40代
興味がない	男性	50代
特になし	男性	50代
解説・説明してもらえる	男性	60代
歴史的変化がわかりやすい展示	男性	60代
行けない	男性	70代
ボタンを押すと解説が流れ、展示物が動く	女性	30代
忙しいので暇がない	女性	60代
世界で注目されていることの解説	女性	60代
興味がないのでよくわからない	女性	70代
特になし	女性	80歳以上

1.自由回答《市民一般》

Q7. そのほか充実してほしい設備があればご自由にご記入ください。

回答詳細	性別	年代
野球ドームの設立	男性	20代
市内に多数の博物館があるが、それを集約して規模の大きな一つのものにできればと思う	男性	20代
一度来ただけで終わらないための設備。小中学生と観光客が一度来るだけでなく、地元市民が何度か来る施設でなければ新たに整備する意義が薄い。新たに税金を使う意味はないと感じる	男性	30代
あちこちにある博物館・美術館を一ヶ所に集結させることができれば、素敵だと思う。敷地にゆとりのある公園を一つ選んでぐるりと美術館・博物館で取り囲む。朝から晩まで家族であちこちの美術館へ行ったり、博物館へ行ったり、疲れたら公園の木陰や芝生でちょっと一休みしたりと楽しく過ごせると思う	男性	30代
観光誘致的な設備ではなく、義民記念館のような地元の人間が長く快適に利用できる庭園	男性	30代
運動のできる体育館	男性	30代
市民の入館料免除	男性	30代
資料の展示をするなら大英博物館のように多くの人に興味のあるものを展示してほしい。もしくは体験型を充実してほしい	男性	30代
子供たちが遊べる公園のようなスペース	男性	30代
wi-fiが使える環境	男性	40代
新たな箱ものということなら必要ない。視点を変えた展示方法などを世代を超えた若者の意見を取り入れる	男性	40代
そばまつりができるくらいの広さのイベント会場。アスレチック広場。スケート場	男性	40代
子供から大人までが参加できる講習会や教室	男性	40代
穂高のみらいへ本を借りに行ったり、返却する時友達とコーヒーなどお茶してくるのがとても楽しみ。展示のみでなく、そんなことも良いのではないか	男性	40代
無料化	男性	40代
震災など災害時に対応できる設備	男性	40代
高齢者・身体の不自由な方に配慮したバリアフリー。ガラス工房技術を用いたステンドグラス風	男性	40代
見せ方が話題になる展示方法・展示設備	男性	40代
自由に遊べる大ホール	男性	50代
市民団体の作品展示スペース	男性	50代
親も付いて子供が楽しめる体験ゾーン	男性	60代
費用をかけないでほしい	男性	60代
外国の博物館と情報などが共有できるスペースで、リアルタイムでやり取りができること	男性	60代
博物館機能のみで良い。ショップなどは民間に任せる	男性	60代
駐車スペースは景観を考慮して地下にする。レストラン・カフェと庭園と休憩スペースと展望台を同じスペースにする	男性	60代
駅からのバス等、交通の充実(施設と施設間の移動なども)	男性	60代
個人で調査・研究している内容を発表できる場	男性	70代
安曇野市が通過地点にならない。滞在型にして、再度訪れるような文化・遊の取り入れた施設の充実があっても良い	男性	70代
きれいなトイレ	男性	70代
分散している施設を集約する	男性	70代
安曇野市としてだけでなく、長野県また日本の中でも特殊な特色ある立派な博物館を建ててほしい	男性	70代
博物館と博物館を結び散歩道や自転車道の整備。コース中心に特色のある博物館めぐりができたらユニーク	男性	80歳以上
ミュージアム。レストラン・カフェ。休憩スペース	男性	80歳以上
150人～300人収容できるステージ。詩吟大会の発表会ができる場所	男性	80歳以上
子供が楽しめるような設備	女性	20代
キッズスペース	女性	20代
子供の利用も考えているならキッズスペース。外にもちょっとした遊ぶスペース。遊びながら体験できるもの	女性	30代
休憩スペース。駐車スペース。安曇野市の博物館は松本市や長野市と比較すると垢抜けなくて年配向けの地味なイメージがあるので楽しそうな、そして何回でも行きたくなるようなイメージ・設備があると良い。県外の人でも呼べるような場所も少ないので観光スポットにもなるようなもの。結婚式やガーデンパーティ・室内パーティもできそうなロケーション	女性	30代
気軽に訪ねられるところ。県外からの来客を案内できること	女性	30代
無料もしくは格安で子供がゲーム感覚で学べ、楽しめる場所	女性	30代
展示物がいつも同じならピーターはいない。少しの工夫もしないで同じものを見に来るわけがない。市民体育館や多目的ホール。子供からお年寄りまでが使えるもので楽しめる場所があると使う	女性	30代
特になし	女性	30代
施設へ行くためのバス。誰でもすぐに使えるようなもの。わかりやすい案内板	女性	30代
子供が気候や天気に関わらず遊べる屋内施設。塩尻市の子供広場のようなスペースがあると良い。施設使用料も安く、子供が自由に体を動かしたりできる場所があると、親子ともとても嬉しい	女性	30代

1.自由回答《市民一般》

Q7. そのほか充実してほしい設備があればご自由にご記入ください。

回答詳細	性別	年代
解説してくれる人。点字・手話・要約筆記・音声案内・文字通訳など視聴覚障がい者へのサポート	女性	40代
星がきれいなので子供と一緒にのツアーなど企画してほしい	女性	40代
子供たちが楽しめることをやってほしい。地区の小さい祭りは地味。あづみの祭り以外にももっと楽しいことを教えてほしい	女性	40代
博物館の外観から地味なため、来客を連れて行こうと思わないので観光地らしい外観 入ってみたく感じる感じにしてほしい	女性	40代
四季折々のプロジェクションマッピング定期開催。松本情報工科専門学校などと作成したらよい。松本市より先にやって観光客呼び込む	女性	40代
これだけネットが普及し、高齢者でもスマートフォンを使いこなすようになって情報収集の重要なツールになっている中で各館が独自のホームページを持たず、情報発信していないのはあまり活動していないところと受け取られかねない。特に旅行者は事前に訪問場所を調べる際にホームページやブログなどで面白そうなところをピックアップするので、このようなツールの充実重要	女性	40代
名古屋科学館がとても面白かった。子供も大人も一緒に遊びながら学ぶことができた。デートの若者もたくさんいてびっくりした	女性	40代
生物が見たい	女性	40代
他県から1ターンで来たが、今まで住んでいたところの美術館は夕方6時ころまでやっていて、夏は更に遅くまでやっていた。こちらに住み残念なことはスーパーは遅くまでやっているのに、観光や博物館など早く閉まってしまう	女性	40代
博物館に入ってゆっくりできる設備	女性	50代
またまた税金を投入して何かを作るのであれば反対	女性	50代
道具を使ったり、物を作ったりなど体験型の展示から発展させ、実際に作ったり動かしたりと体験できる設備と人員	女性	50代
大人スペースと子供同伴スペースに分けられたらなお良い	女性	50代
自転車の利用者のために道路のデコボコを何とかしてほしい	女性	50代
自然をそのまま利用した場所を作ってほしい。夏など沢・風穴などを利用して涼をとるとか、水の湧き出す音が聞けるなど	女性	50代
お年寄りが気軽に利用できるスロープ	女性	50代
休憩スペース・エレベーターや多目的トイレ・駐車スペースなどは施設の条件として当然必要	女性	50代
子供の遊べる場所や年寄りが休める場所があればゆっくり楽しめる	女性	50代
一つの博物館を訪れた時、他の博物館への興味・関心につながる展示の工夫	女性	50代
博物館・美術館などに行くのに三郷・堀金・明科など交通機関が充実していない。全員が車の運転ができるわけではないので、コミュニティバスなどの機関を増やしてほしい	女性	50代
大人も子供も安心して来館できる安全設備。子供たちが気軽に学べ、又来館できるキッズスペース	女性	60代
豊科近代美術館の庭のまわりにバラが植えてあると良い	女性	60代
水飲み場がほしい。外が暑いので冷たい水飲みを作ってほしい	女性	60代
いろいろな博物館がバラバラでなく、比較的隣接したところで集めてもらえれば嬉しい	女性	60代
学習へとつなげる研修会・教室・趣味を通して仲間が作れたら良い	女性	60代
興味のない人・ある人は決まっているのであまり公の予算を使わないで充実してほしい	女性	60代
芸術館があればコンサート・演劇で人が集まり活気が出るのではないかと。松本の百竹亭みたいに茶会など気楽にできる場所	女性	60代
標本の保管設備	女性	60代
安曇野の発展に貢献した人物など知らない人が大勢いると思うので是非知りたい	女性	60代
絵葉書など訪れた記念になるものを充実してほしい	女性	70代
近代美術館のそばの図書館が遠いので高家方面にも博物館のそばに図書館がほしい。中の図書は寄贈品が多くあると思う。自分もたくさん持っているので勿体ないと思う	女性	70代
車いす・手押し車などを利用できるようにしてほしい	女性	70代
南部公園に更衣室・シャワーなど設置してほしい。非常時に備え、各所に井戸を掘る	女性	70代
展示のみではマンネリ化して風化していくように思える。催しものなどあれば再度見たりできるのであまり広くなくても良いからあれば良い	女性	80歳以上
立体地図	女性	80歳以上

1.自由回答《市民一般》

Q10. 新しくできる博物館への期待 その他

その他詳細	性別	年代
必要がない	男性	20代
自然に関わるもの	男性	20代
いらぬ	男性	30代
観光客が集まるもの	男性	30代
安曇野は大きな観光施設が少ないため、安曇野市民以外の人に自然・芸術・文学など様々な魅力を発信し、安曇野観光の目玉の一つとしてあげられる博物館	男性	40代
あまり興味が持てないのでわからない、これ以上いらぬ	男性	40代
必要なし	男性	40代
わからない	男性	40代
作る必要ない	男性	40代
歴史的名作の鑑賞	男性	40代
新しくはいらぬ	男性	40代
観光目的に合った博物館	男性	40代
恐竜博物館みたいな子供が興味を持ちそうなもの	男性	40代
要らない	男性	50代
安曇野の自然を映すシアター	男性	50代
必要ない	男性	50代
不要。これ以上金をかけなくて良い。税金の無駄	男性	50代
市立と謳えるような魅力的なもの	男性	50代
不要	男性	50代
必要ない	男性	60代
気軽に訪れ、自由に憩うことができる	男性	60代
昔どこでも作った古い生活用品だけを集めた博物館は不要。ここでしか見られない特徴ある、また体験できないような展示や活動が望ましい	男性	60代
不要	男性	60代
高額な設置・維持費用を要さない博物館	男性	60代
現在の施設で十分であり、新たに建設する必要はない	男性	60代
交通費のかからない方法で行くことができる	男性	60代
新しい博物館は要らない	男性	60代
既設の博物館とのつながりで各ヶ所に行ってみたくなるような施設と活動	男性	60代
新しいものは不要に思う。荷物が増える	男性	60代
現状で良い	男性	70代
行かないので無駄。税金を使わない	男性	70代
新設は不要	男性	70代

1.自由回答《市民一般》

Q10. 新しくできる博物館への期待 その他

その他詳細	性別	年代
期待していない	女性	20代
いくつかの部屋を作り、スタンプ台を置いてスタンプラリーができる	女性	20代
新しい博物館は必要ない	女性	30代
新しい博物館は必要ない	女性	30代
観光客に満足してもらえて、また安曇野へ来たいと思ってもらえる博物館	女性	30代
ワクワク・ドキドキ・また行きたいと感じる博物館	女性	30代
必要ない	女性	30代
そもそも博物館を新設する必要があるのか疑問	女性	40代
特に必要ない	女性	40代
新しい建物ばかり建てても意味がない。今あるものの中で考えるべき	女性	40代
観光も兼ねられる博物館	女性	40代
安曇野市の人だけでなく、他の土地から来た人も行ってみたいと思える博物館	女性	40代
いらぬ	女性	40代
市民が自分の優れたコレクションなどを展示できるコーナー	女性	40代
税金ばかり使い、箱ものだけを作る案には大反対。無駄使いはもういらぬ	女性	50代
学芸員も含め、入れ物だけではなく内容の充実	女性	50代
新しい博物館はいらぬ	女性	50代
新しい博物館はいらぬ。他に金をかけることがあるだろう	女性	60代
現在あるもので十分	女性	60代
必要ない、無駄使い、統廃合で良い	女性	60代
特になし	女性	60代
新しい博物館はいらぬ	女性	60代
これ以上は不要	女性	70代
博物館もだが、美術館をもっと重視してほしい	女性	70代
必要ない	女性	80歳以上
客が来てくれる作品の展示	女性	80歳以上

1.自由回答《市民一般》

Q11. 新市立博物館へ期待する事業・活動 その他

その他詳細	性別	年代
わからない	男性	20代
特になし	男性	30代
安曇野は全国でもトップレベルの山岳を有するにもかかわらず、その観光資源を生かしきれていない。大都市からの観光客・登山客の受け入れのため、大駐車場や路線バスのバスターミナル・各登山口へ向かうためのタクシーやバス乗り場の併設。下山してきた人や観光客も楽しめる入浴施設。低予算で安曇野を楽しむ人やライダー・自転車で行く人たち向けのキャンプ場。これらを博物館と一体で運営すればより集客効果が見込め、訪れる人にもキメ細やかなサービスの提供ができる	男性	40代
興味が持てないし、新しく博物館を作らなくても良い。これ以上いらない	男性	40代
必要なし	男性	40代
期待しない	男性	40代
新しく建てる必要はない	男性	40代
他の文化施設・商業施設との融合による価値アップ	男性	40代
要らないので期待しない	男性	50代
不要。既存のものを減らして税金の無駄をなくす	男性	50代
塩尻市のエンパークのような機能・役割	男性	50代
特になし	男性	60代
あまり興味が無い。各市町村に必要なのか	男性	60代
建設自体反対	男性	60代
博物館としての一般的な事業だけで良い	男性	70代
税金を使わない	男性	70代
既存設備を有効利用し、観光客を誘致する案内のビジターセンター事業	男性	70代
今の段階では期待できない	女性	20代
必要ない	女性	30代
何をしたい施設なのかよくわからない。箱ものばかりでソフトがない	女性	30代
市民が利用しやすい場所	女性	30代
そもそも博物館を新設する必要があるのか疑問	女性	40代
期待はない	女性	40代
建設は絶対反対。もっと違うものに税金を使うこと	女性	50代
学術研究の充実	女性	50代
学芸員を多く要して本格的かつ、専門的なものを期待したい	女性	50代
特になし	女性	60代
穂高・豊科・三郷・明科の地域を生かした博物館があるので、もっと充実してほしい	女性	60代
松田コレクション	女性	60代
設置は希望しない。現在のものをリニューアルで使ってはどうか	女性	60代
新しい博物館はいらない	女性	60代
安曇野の偉人たちのパネル展示。展望台よりのアルプスや雪形の説明	女性	60代
興味がない	女性	70代
既存の博物館の充実	女性	80歳以上

1.自由回答《市民一般》

Q13. そのほか、新博物館の活動として期待するものがあれば自由にご記述ください。

回答詳細	性別	年代
実際安曇野市内にある博物館がどのようなものを展示しているのかなど全く知らなかった。むしろ概要を同封していただき初めて知った。市内に住んでいる特に若い方は自分と同じような人が多いと思う。現代は以前に比べ通信機器が発達し便利な世の中になってきている。本当に新しく博物館を作るのであれば、もっと通信機器を通して特にSNS(ツイッター・インスタグラムなど)に幅広く宣伝活動を展開し、国内・海外から誰もが来やすい博物館を作ってくれと期待している	男性	10代
国立公園・大学機関などとも協力した自然保護研究活動	男性	10代
安曇野市ないし信州に対する全国の期待は自然だと思う。観光の際に気軽に寄れる・興味の対象がある大王わさび農場のような施設が良い。全ての市立博物館・美術館を知らなかったので新博物館で既存の施設の広報を行うと良い。地域密着も大切だが、県外からの集客を狙えるような施設であってほしい	男性	20代
観光に関わる仕事についているため、客に勧められるような博物館の設立を希望。わかりやすい名称・内容・ビジョン。パンフレットなどの広報・情報発信は是非協力したい	男性	20代
多角的にもものを見る目を養う内容であってほしい。来場者が知るだけでなく、考えさせられる場で発見の宝庫であってほしい	男性	30代
ミュージアムショップのスタッフとして活動	男性	30代
市民が身近に感じられて気軽に参加できるようなもの	男性	30代
子供が郷土の歴史・文化を学ぶことは絶対に必要だが、観光客を誘致できるくらい魅力的な展示・企画ができなければ新規に作る意味はないのではないかと。作るなら家族で行けるテーマパーク風のもが良い	男性	30代
他県の施設をもっと勉強してみたい。新設せずとも充実させる方法はあると思う。月1回程度で良いので3才からでも参加できる体験教室をしてはどうか。現在のままでは全体に開かれた場所にはならないと思う	男性	40代
福祉に金を使い、新しい博物館は建てない	男性	40代
県外の人や海外の方に安曇野市とは ということとわかりやすく、且つ魅力が伝わる展示にしてほしい	男性	40代
交通アクセスも良いメリットを生かしたコンサート・イベントの催し。これによって地域経済の活性化	男性	40代
豊科近代美術館のようにバラ園などを庭に置き、市民の憩いの場となるようにしてほしい	男性	50代
これから少子高齢化が進む中で箱物行政を目指すのではなく、他にもっとやるべきことがある。新市立博物館は松本市に任せて松本市と重複しない方が良い。松本新博物館へのアクセスを良くした方が両市のために良いのではないかと。博物館は展示を都度変更しなければ一回見れば十分となる。しかし、音楽は常に新しい発見があるので、音楽活動をもっと向上させるためにあづみ野コンサートホールを補助してほしい	男性	50代
博物館と名がつくことで期待感が薄れてしまうので別の言葉を使ってほしい。博物館 = つまらないものというイメージがある	男性	50代
年寄りの遊び場・大人のサークル活動も良いが、これからの子供たちに絵や音楽・物作りなど芸術的な知識や興味の持てる場を考えてあげる	男性	50代
音楽活動としてボランティア参加も可能	男性	50代
豊富な収蔵品の収集と系統だった分類と整理。見やすくわかりやすい展示	男性	50代
植物も多種にわたって植えてほしい	男性	60代
税金だからインプットとアウトプット・コストパフォーマンスも考えてほしい	男性	60代
特になし	男性	60代
一般に箱物行政は費用対効果が問われ、後年非難的になる危険性がある。昨今は自然災害が意識されている状況であるが、のど元過ぎれば忘れ去られる。万人に対して有用で費用対効果も問われない展示物として過去の災害記録は重要と思われる。わが安曇野市はフォッサマグナ上にありもっと災害意識がなくてはならない。多目的の中の一部として展示するか、これ専用のものを建てるかは議論が必要だが、多くの人の目に触れさせ啓蒙できる方法が良い。個人的には地震により川の氾濫の有無(ダムの崩壊が起因)、氾濫した場合の水害エリアに興味がある	男性	60代
無駄な金は使わない。現在の施設は経営が成り立っているのか。新しいものを造れば良いというものでもない。新市立博物館は採算が取れるのか	男性	60代
市民の税による活動であることを留意したものであることを基にしてほしい	男性	60代
今ある博物館のものを学校などに持ち込み実際に使ってもら。歴史を知ってもら。何も新しい建物にしまいこんでしまったら、一つにまとめたなら多くのものを失うことになる	男性	70代
モータリゼーションは博物館生活リズムに合わない。歩く人、または自転車に乗る人中心の生活リズムこそ大切。博物館生活リズムに合った設計計画。とにかくハンドルを握って走る人は足元など見ない	男性	80歳以上

1.自由回答《市民一般》

Q13. そのほか、新博物館の活動として期待するものがあれば自由にご記述ください。

回答詳細	性別	年代
安曇野市の伝統・文化の展示や継承伝達はもちろんだが、次世代を担う子供たちがやはり面白いと思える博物館でなくてはいけないと思う。そのために常に新しいことに挑戦できるスペースを期待する	女性	30代
カフェなどで郷土食や、期間・季節限定の安曇野の野菜スイーツやランチが食べたい。食と芸術と園芸が合わさった博物館があったら行ってみたい	女性	30代
道祖神のことを知りたい	女性	30代
建設する前に今現在ある博物館をもっと活用できないのか。せっかくあるのに活用しないのはもったいない。既存のものをもっと有効的に利用することで各地域の活性化も図れるのではないか。今の安曇野市民で博物館を利用したいと考えている人の割合や利用者数を考慮してほしい	女性	30代
市民が必要と思うものを造るなら大いに良い。博物館を造るということを市民に説明し、話し合いはしてあるのか。勝手に税金を使われるのはどうか。市民全員にアンケート・投票をするべき	女性	30代
外観を素敵にほしい	女性	30代
外国の方にもわかりやすくする。自分は英語が少し話せるので観光関連のボランティアに興味がある	女性	40代
子供たちが行きたがるようなイベントを多く増やしてほしい。良いものを多く見せてあげたい	女性	40代
博物館の概念にとらわれないイベントなどタイムリーなものを発信する場所になってほしい。日本代表サッカーやオリンピック・WBC・松本山雅などのパブリックビューイングや季節を感じる展示やイベント。ナイトミュージアム風になると嬉しい	女性	40代
昔ながらの郷土の文化を伝えてくれる場所になれば良い	女性	40代
せっかく金をかけて造るのだから意見のあるものを造ってほしい。地域の人や学校が使いやすく、建設にかかる大金を無駄にしないでほしい	女性	40代
マイナーでも人に感動を与える素晴らしいアートや音楽を精力的に探し、紹介して行ってほしい	女性	40代
シアターがあれば嬉しい。入場料も市民だと少し安くしてくれれば嬉しい	女性	40代
いつも目にしているが、やっているのかやっていないのかがわかりづらい。風情も大切だが、外をきれいにするのも良いと思う	女性	40代
おしゃれでかっこいいもの	女性	50代
地域の歴史や自然などについて資料収集研究する役割があるが、なかなか興味がないと足を運ぶことはない。市民のための建物とするのか、観光的要素を入れての建物とするのかによって違ってくると思うが、収入を得ることが目的でないはずなので市民の多くの人に参加できるような活動ができる博物館・美術館であってほしい	女性	50代
安曇野の文化の薫りは建物・風景・道祖神など市内のあちこちにある。魅力的な散策スポットと現在の博物館が上手につながればと思う。点在する博物館も意味あるものではないか	女性	50代
もっと観光客など他からの来客を期待できるように楽しめる博物館にしてほしい	女性	50代
市民のボランティアの力に頼った清掃や造園などは是非やめてほしい	女性	50代
新しい博物館にどのようなものを展示するのか知りたい。安曇野市は美術館など良いものがあるが、集約されていないのが発展しないわけだと思う。スポットを一つに絞れば来る人たちも見やすい	女性	60代
特になし	女性	60代
自然豊かな市の特徴を生かし、次世代にとって有用な活動。正確なデータを集積し、全国の人に発信できる博物館であってほしい	女性	60代
豊科の南方高家真々部方面に何もないので図書館がほしい	女性	70代
新しく箱ものを作るのはどうかと思う。みらいは成功例だが、今ある博物館・美術館の利用状況はどうか。車もない、介護者がいる我が家では簡単に利用できない。現在のものを創意工夫してより良く利用できる施設にした方がどんなに良いかと思う。知恵を十分利用してほしい	女性	70代
誰でも気軽に入れるようにしてほしい	女性	70代
博物館・美術館・図書館など市が造ることに賛成だが、その施設が出来ても近所の方は利用しやすくても、少し遠方の地区の住民は路線バスがないのでほとんど利用できない	女性	70代
誰でも気軽に利用できる施設。明るく少時間でも入れて自分の望む目的を調べられる場所であるところ・空間	女性	70代
送迎用のバス代があればとても便利かと思う	女性	80歳以上
特になし	女性	80歳以上
いろいろ活動したい思いはあるが、車と年齢でダメ	女性	80歳以上
活動してみたい気持ちはあるが、年寄りでは不可能	女性	80歳以上
長野県らしい他県と異なる方法で進めてほしい。安曇野はとても素晴らしい地区	女性	80歳以上
個人や団体が持っている資料・現物などをいかに伝承するか公開するか。自分たちの博物館らしく身近なものにしたい	女性	80歳以上
わかりやすい説明にする。企画する人が専門的な人だと困る。駐車場を広くとる	不明	80歳以上

1.自由回答《市民一般》

Q14.「新市立博物館」の望ましい整備 その他

その他詳細	性別	年代
既存施設を全て廃止し、新設する博物館に集約する	男性	20代
もっと博物館とわかるよう、且つ外観も観光客に印象に残るようなデザイン性にする	男性	30代
現在の博物館の一つを増改築し、新設の充実した博物館	男性	30代
特になし	男性	30代
税金を使って新しい箱物を作る必要はないが、現状の施設は行きたいと思わないので数多くいらぬ。魅力がない。それでも安曇野市の博物館として一つくらいあっても良い。地元の文化を後生まで伝えることは必要と思うが、観光客も多く訪れる魅力のある博物館がほしい。無駄を省いて少しでも税金を安くしてほしい	男性	40代
市庁も新調したばかりでそんなに財源あるのか	男性	40代
魅力のある展示ができるなら、集中して総合的な博物館	男性	40代
安曇野の公園のように花や植物を見ながら散歩したり、子供が遊べる場所があったり、マレットゴルフ・テニス・卓球など運動を自由にできるラウンドワンのような施設があり自然を映画のように見れる安曇野らしい博物館であってほしい。残念ながら現在の博物館には何の興味もわからない	男性	50代
もっと告知すること	男性	50代
各博物館を整備し、ネットワークでつながった場所は別々でも一体化したイベントなどを行う。分散且つ一体型のある意味でのネットワーク型大型博物館にする	男性	60代
縮小	男性	60代
どのような博物館構想を持つかによって異なる	男性	60代
碌山館の周辺に整備をして活動するのが望ましい。あずみんで一周できるようにする。一カ所へ集めること	男性	70代
書道・絵など市民の発表の場として利用できるスペースを設ける。そもそも9カ所の施設に対し、どれだけの利用者があってどれだけの費用がかかっているのかわからない。市を上げて建設すること自体が疑問であり、観光客をひきつけるだけの入館者数は当初の計画に比べて目標を達成できているのか、魅力的なスポットになるとは感じられない	女性	20代
せつかく新しい安曇野市の市役所ができたので博物館を作るなら市役所の近くが良い。豊科近代美術館の中や周辺を改築・整備するのも良い	女性	30代
既存施設をなるべく減らして、市役所の庁舎のように新しい博物館を整備してほしい	女性	30代
博物館の統廃合は賛成だが、新規の建設・改築は必要ない。現在の博物館を上手に利用して費用は子育て事業など他の案件に使用してほしい	女性	30代
空気が澄んできて星空のきれいな安曇野市なのでプラネタリウムを作ってほしい	女性	30代
観光客が集まりやすい場所、例えばアートヒルズなどの近くに建てるか、或いは併設する。安曇野市の人口はそれほど多くなく、足を運ぶ人の割合もそれほど高くないと思うので、安曇野文化を発信する意味でも他の地域の人も呼び込めるような魅力ある施設が良い	女性	40代
古くなったら新しい施設を建てることを前提とした箱物を造るのではなく、何世代にも渡って手入れをすることでこの安曇野の歴史・文化を伝えていくような施設を造ってほしい。限りある資源を大切にしていこう姿勢を訪れる人に発信してほしい。文化は使い捨てではない。手入れをすることで地域の職人の技術を次世代に伝え守ることに自分たちの税金を使ってほしい	女性	40代
郷土資料館は一つにしても良い。それ以外は独自に目的を持って発展してきたことと思うので他は機能的にも集中させる必要もないし、観光的には分散している方が良い	女性	50代
とにかく9ヶ所の施設は多すぎる。美術館一ヶ所・博物館一ヶ所で十分	女性	50代
豊科近代美術館があるのでそこを起点として充実させていくことはできないか。新しく造るのはもったいない	女性	50代
長野市や佐久市にある科学センターのような施設なら新しく建設しても良い	女性	50代
美術館は事業内容の充実を考えてそのままが良い。記念館・資料館は統合し、事業活動の充実を図れば良い	女性	60代
面白そうと興味を持たれ、足を運んでくれる博物館でないと、と思う	女性	60代
古いものをそのまま残す。保存し、守っていく努力をしていくことも大切。古さに心がある。古き良き時代といえるものがだんだん失われる昨今である	女性	60代
博物館の数に関係なく車重視の駐車スペースだけではなく、自転車道路・散歩道と様々な要素を取り入れたアプローチを考えたら良い	女性	70代
現在の博物館を維持するか、統合して市内1～2カ所が良い。経費削減に努める	女性	80歳以上
現在ある9施設を5施設にまとめる。臼井吉見文学館・飯沼飛行士記念館・穂高陶芸会館・穂高郷土資料館は他5施設のどこかにまとめる	女性	80歳以上

2.自由回答《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q3. 博物館・美術館に行きたくない理由 その他

その他詳細
類似施設或は個人メモリアルが多く、展示内容に変化が少ない
博物館は1度見たので、何度も行こうとは思わない。美術館は興味のある企画展だけ見ます。常設展は1度だけ見れば良い
“一度見たのもう行く必要がないから”……博物館
かわいい人形とか、きれいなもの、ふしぎなもの、何回も見に行きたくなる、胸にぐっとくるもの

Q4. 次世代に残したい経験や技術 その他

その他詳細
民具の使い方の延長線上に、現代道具のあり方を考える
博物館でなくても、すでに、活動しているみたいですよ
衣服、各種行事・儀式の実際のやり方、目に見える記録媒体に残すこと。地形
諸講座、スキル、技術
文化は展示するものでなく、継いでゆくものなので、施設ではなく、人を育てることに重点を置いた方がいいと思います

Q5. 博物館の展示として興味のある分野 その他

その他詳細
1ヶ所に展示してしまうと、ほんの一部ずつになり、実際のスケールは、何年も住んで、肌で感じ取り、興味がわく分野については深く、研究して行く機会も資料も、組織もあるので、博物館で安曇野を一目で知ろうと言うのは、理解できない。安曇野のよさは、個人個人で探すもの
上原良司
山岳。北アルプスは他にほこれる。重要。重点おいてほしい

Q6. 興味がわく博物館の展示手法 その他

その他詳細
現在、何を展示したいのか、見えない。建物が立派でも、展示物が、それに伴う物なのか。国営公園の映像も、何年も同じ物だし、人気のテーマパークのように集客したいのなら、莫大な税金を投入することになる

2.自由回答《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q7. そのほか充実して欲しい設備があれば自由にご記入ください

回答詳細
駐車場スペースの拡充もお願いします
収蔵庫・納入EV、照明器具(LED照明・スポットライト)、調光システム、電設資材(自動火災報知設備、照明制御システム、入退室管理)、バリアフリー、スロープ・車イス用EV、カフェ・グッズ販売(利用率高) - (博物館経営)
研究室・学習室などワークショップルーム
ちひろ美術館のように広々とした庭、ウォーク出来る場所等、ちひろには他県Noの車・観光バスが多く見られる。安曇野市にも広々とした誰でも好きな時間に訪れることのできる美術館プラス憩いの場所があると良い
“エレベーターや多目的トイレ、授乳室など、だれもが施設を快適に利用できる設備”、“ゆったりとした駐車スペース”は今や常識。他は取入れ可能であればそれに越したことはない。然し“コンサートや演劇などさまざまな催しを行う市民ホール”などは併設できるものか。あまり欲張った計画は最初から無理なのではないか
安曇野地域特色のある常設(例.地形、構造線、扇状地、フォッサマグナetc自然科学の資料)
シニアを対象にしたスポーツ設備及びバリアフリーの出来る設備
保存すべき物をしぼり、それを、人の集まる合庁、図書館などで、月替わりで、展示して見せてほしい。大きな博物館で、数時間かけて見るのは、正直あきる。子供や年よりは、1時間前後が限度です。子や孫の時代に、借金を残すことは、すべきではないです
外にも中にもベンチをたくさん欲しい。海外の博物館、美術館にはあり、旅人には憩いの場所である。日本に来る外国人もよく言います。“エレベーターや多目的トイレ、授乳室など、だれもが施設を快適に利用できる設備”は常識です
博物館に付属する施設としてではなく、市全体で行うイベントや演劇やショーが上演できる市民会館(大ホール)の建設を望む
館内で腰をおろす場所の確保、随所に
設備(ハード)ばかり新しく立派になってもソフトが追い着かない所が多いので、まずソフトの向上を！！まず安曇野市の現在ある博物館のあり方を省る事から始めては
安曇野らしい緑と空気を感じさせる五感をいやされる設備であってほしい
共通チケット、巡回バス
点在する各施設を統合し、1ヶ所で様々な展示をしたらどうか
貸しギャラリー(展示スペース)
時代の変化を感じられる、ゆったりとした展示スペース(生活を実感が出るようなもの)
学芸員の自己紹介や学芸員のこだわりがとて良く判るコーナー
市内には数多くの美術館があります。ある物をいかに。これ以上必要ない

Q10. 新しくできる博物館への期待 その他

その他詳細
今の施設の充実を
広い土地ですから、近い人には便利ですが遠い人は利用できませんね
市関連芸術家等を集大成したもの
現在ある施設は、各々、必然と先人の努力によって設立されたものと思う。今ある施設の予算を充実して人的(学芸員)・収蔵品の充実、交通の便(巡回バス等)を計って、各々の館の特徴を伸ばし、全国区で通用する施設にしてほしい
安曇野市の外へも安曇野市の文化を発信できる博物館
対話のできるミュージアム、ミュージアムトーク、知識のある人、人材Bank
図書館の“みらい”と“きぼう”を活用して、展示をすると、わざわざ博物館に行かず、老若男女に発信しやすい
広い敷地のある博物館
旅行者にも情報提供ができる博物館
既存の建物の事を考えた後の話ですよ
博物館・美術館の概念にとらわれない方が良い
箱物はつくりたくない、広場や今あるものを利用する事

2.自由回答《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q11. 新市立博物館へ期待する事業・活動 その他

その他詳細
レジャー施設と一線画すること
一般人(庶民)が気軽に集まれる所 1ヶ所の設置は問題があると思う
今ある施設の充実・活用を先ず計るべき
民間の施設(建物、庭)資料と推奨による公開
広げれば、広げる程、管理、維持費がかかります。本当に大切な資料の保存、研究、展示は必要でしょうけど
安曇野に関する最も権威ある、情報の発信センターなるべきこと
地元を支える美術・芸術を一般の市民が気軽に発表できる場

Q13. そのほか、新博物館の活動として期待するものがあれば自由にご記述ください。

回答詳細
博物館資料である標本、作品をデータベース化し、ウェブサイト上で配信するネットワーク化し、情報資源として利用可能とする。文化遺産オンライン、所蔵作品総合目録検索システム、科学系(動物他)人類研究、理工学研究の提供データベースを検索できるシステムの導入、博物館情報のデジタル化を推進し、デジタルネットワークの拡大、博物館資料の充実につとめるベクトルを期待するものである
出来るだけ早く充実を期待します
図書館、学校など連携を深め、積極的に外部へ出る活動
高齢になり交通の便で積極的に参加できないが、側面から、発展向上することを期待しています
市内のみでなく県内・県外へ情報を発信して存在をアピール出来る美術館になれば良い
すでにやっています。学芸員の研究活動の充実。発表の場を設ける。紀要の内容充実。図録の発行。市民団体との連携強化
物を展示するだけの博物館は、もういらぬのでは、体験したり、感じたりできるものでなければ、あまり意味がないかと思えます。安曇野に居住している人も、訪れてみたくなるようなもの、体感できる施設ならば必要ですが
今回は博物館のアンケートの様ですが、美術館は全く別物です。博物館は統廃合し、見直すべきと思いますが、美術館は安曇野の大切な遺産です。大事に存続させて下さい
博物(学)の発信の場所としての存在。どんなものがどこにあるか、そのものの解説、ホームページの充実。学都(岳都～大町市、楽都～松本市)としての安曇野市の中心的存在になること
資料の展示は大事であるが、講演・講座などの学習・啓発的な活動・イベントによる企画活動など市民に刺激を与える内容を期待したい。市民の文化・芸術の発表の場を提供してほしい
新進作家氏の展示をして、実力をつけるのはどうですか
他博物館の展示品展示
各地区にある、昔の道具や土器など統合して展示できる博物館。公共的な設備が三郷には少ないので、三郷に設置してほしい
学芸員の個性を強く打ち出した講演会。「モノ」で集客するのではなく、「ヒト」と「コト」で呼ぶ仕掛けづくり
市民にとって本当の意味で開けた場になり、新しい文化発進への期待があります

2.自由回答《安曇野市内博物館・美術館来館者》

Q14.「新市立博物館」の望ましい整備 その他

その他詳細
広いスペース 各美術館はそれぞれ個性ある美術館だと思うがそれ以上のものには成り得ない。統合してよい価値を高めたほうがベターだと思いますが 美術館関係は残して、歴史部門と自然部門で総合博物館としてほしいと思います。文化課の皆様には、長野県内の他市の博物館がどのようになっているか、よく見学いただければと思います。特に飯田市美術博物館は必見です(また、松本市博物館も建て替えどうするのか注目です。)財源の事は考えずにじっくりと構想いただければと考えます。このアンケートを見ると、まだこの段階なんだなというのが正直な感想です “ 新規に博物館を建設し、他の既存施設の一部の機能を集中させる(“気づき”をさせる総合的な博物館)”と回答しましたが意見を述べさせていただきます。今回のアンケートで、豊科郷土博物館と穂高郷土資料館があることを知りましたが、何となく同じような内容の施設ではないかと想像がつきます。それぞれが別々に存在する意義は特にないと思料されますので、早期に集約すべきと思料されます。また市内の博物館、美術館の中で、臼井吉見文学館、飯沼飛行士記念館、高橋節郎記念美術館、田淵行男記念館については、市に合併以前に各町村がいわゆる「箱物」を建設したく、郷土の偉人の業績を後世に残すことを目的として作ったものと思料されます。後世に郷土の偉人の偉業等を伝えることは重要なことですが、今日のような情報社会において、その人物が亡くなってある程度の歳月が経過した今となっては、独立した施設において個人の偉業等を伝えることは意味を持たなくなってきているのではないかと思料されます。ところで、穂高陶芸会館も名前からして、今後も独立施設として展示等するまでの施設とは考えられません。貞享義民記念館についても、当時処刑された方が多数おり、大変な想いをされ、その事件後の影響については計り知れない部分があることは否めませんが、今となっては独立施設で展示等する意味を持たなくなってきているのではないかと思料されます。このような理由から、総合的な美術・博物館を作り、上記美術・博物館についてはその一部に地域の偉人等の展示ブースを設け、今後、常設または企画展示を行って行けば十分と思料されます
旧堀金支所を改装して利用できないか 豊科・穂高地区有りますので やはり市制となり、安曇野市として統合市立博物館はあった方が良くと思う。しかしながら、箱物が後世に負担とならない活用場として考えるべき “ 新規に博物館を建設し、他の既存施設の一部の機能を集中させる(“気づき”をさせる総合的な博物館)”が望ましいが、図書館に隣接すること。その他、安曇野市立となると、えてして安曇野中心の文物に偏りやすいが、松本平の視点をもつべき美術館との総合運用を効果的に行う。当市は「文化」への取組みが不明確 “ 新規に博物館を建設し、他の既存施設の一部の機能を集中させる(“気づき”をさせる総合的な博物館)”をぜひ願いたい。私は山岳ガイドをしています。松本市に負けないように山岳観光に力を入れてほしいです。市内には3つの山岳ガイド組織が昔からあります。上高地からでなくても、北アルプスには登れます。蝶ヶ岳を越えれば横尾。ここから奥への登山など市独自のPRを 現在の施設を取壊し、維持費がかからなくしてから検討すべき 各公民館や美術館など公共施設に各地区の昔の資料・土器など展示できる方法でもよい

その他

その他詳細	記載場所
“ ぜひ行きたい”……美術館(展示品が更新される)。“ あまり行きたくない”……博物館	Q2
“ ぜひ行きたい”……豊科近代美術館	Q2
豊科郷土博物館、穂高郷土資料館は統合。陶芸会館の位置づけ検討。他の施設は独自の性格を持つので統廃合については賛成できない	Q8
“ ある程度統廃合して、今よりは施設の数を減らしたほうがよい”……博物館	Q8
関心は高いが体力がない	Q12
“ 機会があれば活動してみたい”が、体が動かない	Q12
文化・芸術的な活動には経済的効率で考えるべきではないと考える。施設について入場者数のみ見て経費の割に利益が上がらないと厳しい見方をしているように思う。教育と同じで、目に見えないけれども心や精神の成長の為には必要なものであり、もっと力を入れアピールすることが大切であると思う。施設側ももっと胸を張り主張すべきだと思う	余白